2026.10.31
こんにちは土橋です。ヨハネは御使いが語る素晴らしい言葉を聞き、神ではなく御使いを礼拝し、御使いに叱責されました。私達は感動するような体験をした時、それをもたらした被造物を礼拝してしまいます。しかし、すべての良きものは神様から来ている（ヤコブ1:17）ので、どんな時も神を礼拝すべきなのです。目に見えるものに惑わされずに、すべての善の源である神に常に心を向けて歩みましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2026.10.24
こんにちは土橋です。ツロの王ヒラムはソロモンの申し出を聞いて大変喜び、「今日、主がほめたたえられますように」とイスラエルの神を讃えました。一見すると信仰深い人のように見えますが、彼はバアル神を信仰していました。嬉しいことがあった時には誰もが神を讃えます。しかし、それは真の信仰でない場合が多いのです。真の信仰とは苦しい状態の中で主にある喜びを感じる時に与えられます。苦しみの中でしか感じることのできない神様を楽しみましょう。テキストメッセージ 音声メッセージ

2026.10.17
こんにちは土橋です。世界を支配していた悪のシステムである大バビロンが崩壊しますが、その大バビロンによって利益を得ていた王や商人達は、大バビロンの崩壊を「遠く離れて立ち」悲しみました。彼らは自分は当事者でないと傍観者のふりをしたのです。「隣人を自分のように愛せよ」はクリスチャンなら誰でも知っている命令です。これは「他人に起こっていることを自分ごとのように関心をもちなさい」ということです。だから、傍観者になるということは、それだけで罪となるのです。相手の心にズカズカと入って傷つけることは良くないことですが、他人の苦しみを自分ごとのように関心をもつことは大切です。傍観者にならないようにしましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2026.10.10
こんにちは土橋です。「ソロモンは、イスラエル全土に十二人の守護を置いた。彼らは王とその一族に食糧を納めた」と書かれているように、ソロモンは合理的な納税等を考えて、神様が作った十二部族の区分けを変更しました。神様が与えてくれるものは時に不便で不合理です。しかし、神様の目からは最善の方法なのです。神から与えられたものを嘆いたり、また都合の良いように変えるのではなく、与えられたものそのままを受け取り、喜んで用いてください。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2026.10.03
こんにちは土橋です。ヨハネは「一人の女が緋色の獣に乗っている」のを見ました。これは偽りの教会と反キリストの政府が一時的に一体化して、世界を支配することを意味しています。クリスチャンから見ると、政治の世界にも聖書的な考えが導入されて政治と宗教が一体になるのが理想的だと思います。しかし、人間は生まれつき罪人なので、政治と宗教が一体化すると、「神が言っているのでやりなさい」というように、神様を使って人を強制的に従わせようとします。だから、政治と宗教は分離されているのが良いのです。 この世の理不尽に意義を申し立てることも時には必要ですが、この世の理不尽があるので天国への希望があることも忘れないでください。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2026.09.26
こんにちは土橋です。ソロモンは「生きている子を二つに切り分け、半分をこちらに、もう半分をそちらに与えよ」と言い、母親の愛情と女性の嫉妬心を利用して、どちらが実の母親かを見分けました。素晴らしい知恵ですが、神の目からは不十分です。なぜなら、この問題の真の解決は誰が本当の母親であるかを見つけることではなく、子を失った女性の心を癒すことにあるからです。ソロモンのように何が正しいかを基準に生きていれば、最終的には空虚な人生になってしまいます。そうではなく、神との関係がきちんと確立されているかを基準に生きてください。目に見える状況が良くなくても、満たされて生きることができます。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2026.09.19

こんにちは土橋です。聖書には「すると、獣の王国は闇におおわれ、人々は苦しみのあまり舌をかんだ」と書かれています。これは最後の裁きが苦し過ぎて、人々が舌を噛んで死のうとするという意味です。彼らは死んだら存在がなくなり、苦しまなくて済むと思っているのです。神様が造った私達の存在は永遠になくなりません。肉体は一時的に朽ちてなくなりますが、魂は永遠に存在し続けます。だから、死んでも存在はなくならず、苦しみも続くのです。苦しみから解放されるのは、神様を信じて魂が安らぎを得る以外に道はありません。テキストメッセージ　音声メッセージ

2026.09.12
こんにちは土橋です。ダビデは遺言としてソロモンに「あなたの神、主への務めを守り、モーセの律法の書に書かれているとおりに、主の掟と命令と定めとさとしを守って主の道に歩みなさい」と言いました。ダビデが何度も罪を犯しても立ち直ることができたのは、神を心から愛しており、神様との関係が切れなかったからです。それがわかっているのに、ダビデは教えを守れと正しい行いをするように息子に命じたのです。私達も同じで何よりも大切なのは神を愛することであることはわかっているのに、正しい行いをすることだけを気にして生きています。何をする時もまず神様との関係が保たれていることを考えましょう。 テキストメッセージ　音声メッセージ

2026.09.05
こんにちは土橋です。「また私は、天にもう一つの大きな驚くべきしるしを見た」と書かれています。多くの人間は第一のしるし（キリストの愛による救い）でも第二のしるし（サタンの恐怖による救い）でも自分を脱ぎ捨てることができず、神の裁きにより焼き尽くされるのです。それほど人間は脱ぎ捨てるのが嫌いであり、楽になるのはわかっていても何一つ脱ぎ捨てることができません。勇気をもって今までの自分を脱ぎ捨てましょう。 テキストメッセージ　音声メッセージ

2026.08.29
こんにちは土橋です。ダビデは、「おまえは、どうしてこんなことをしたのか」と自分の子供を叱ることは一度もしませんでした。結果、子供たちはみんなわがままに育ち、親に反抗するようになりました。ダビデは「神様が子供を育ててくれるのだから、必要な時は神様が子供を訓練してくれる」と考えて放任主義で育てたのです。しかし、ダビデの考えは間違っています。エペソ6:4に「主の教育と訓戒によって育てなさい」と書かれているように、教育とは神と人間の両方の力が合わさってなされるべきなのです。神にすべてをゆだねるとは人間は何もしなくて良いことではないことを忘れないでください。 テキストメッセージ　音声メッセージ

2026.08.22
こんにちは土橋です。信仰のない者には雷鳴に聞こえる音が、信仰のあるヨハネには竪琴の音色に聞こえました。信仰を持つと病気が癒やされる訳ではありません。災いであると思っていた病気が、神様が与えた恵みであると心から信じることができ、苦しみが喜びに変わるのです。神様はすべてを支配しています。だから、愛している私達に悪いものを与えるはずはありません。 テキストメッセージ　音声メッセージ

2026.08.15
こんにちは土橋です。ダビデが自分の功績を誇るために人口調査をしたことによって、7万人のイスラエルの人々が一夜にして疫病で死にました。これは、ダビデが今まで犯した姦淫や殺人の罪よりも遥かに重い罪であると神様が考えたからです。なぜなら、「神の力ではなく自分の力でイスラエルは大きくなった」とダビデは高慢になったからです。人類最初のアダムの罪も、御使いが堕落してサタンになったのも高慢によるものです。あれだけ信仰のあるダビデも少し油断しただけで高慢になってしまったのです。第二コリント4;7に『私たちは、この宝を土の器の中に入れています。それは、この測り知れない力が神のものであって、私たちから出たものではないことが明らかになるためです」と書かれているように、自分は土の器であり、神の力がなければ何もできないことをいつも心に留めて生きていきましょう。 テキストメッセージ　音声メッセージ

2026.08.08

こんにちは土橋です。聖書には「獣は、聖徒たちに戦いを挑んで打ち勝つことが許された」と書かれています。獣とは反キリストのことであり、反キリストは三年半の間この地を支配し、神様は助けてくれないのです。それは神様が人間を見捨てたのではなく、後で光がまぶしく輝くように暗闇となるのを許されたのです。誰しも暗闇の中にいる時にはそこから逃れることだけを考えます。しかし、暗闇は神の栄光の準備期間であると考えることができれば、より前向きに忍耐できます。神は無駄な暗闇を与えることは決してありません。暗闇の先にある見えない光を霊の目で見ながら、暗闇を楽しみましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2026.08.01
ダビデは命懸けでベツレヘムまで水を汲んできた三勇士の水を飲まずに、「主よ。そんなことをするなど、私には絶対にできません。これは、いのちをかけて行って来た人たちの血ではありませんか」と言って主に振りかけました。ダビデは三勇士の行為は嬉しかったのですが、ダビデに対してではなく、主に対して命懸けになるように言いたかったのです。私達も家族や自分に対しては命懸けになれても、神様に対しては命懸けになれません。神様を一番にすることができるよう、神の恵みにもっと心を向けましょう テキストメッセージ 音声メッセージ

2026.07.25
こんにちは土橋です。聖書は「悪魔が自分の時が短いことを知って激しく憤り、おまえたちのところへ下ったからだ」と書かれています。悪魔は自分の敗北を受け入れることができず、今も人間を騙し続けているのです。人間の中にも自分の欠点や間違いを受け入れることのできない人がいます。ネガティブなことを受け入れると落ち込むからです。しかし、何事も前に進めるためには、まず今の自分を受け入れることが不可欠です。受け入れることができる人だけが次のステップに進むことができるのです。神を信じる第一歩も自分の罪を受け入れることです。良くても悪くても、まず何事も受け入れるようにしましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2026.07.18
こんにちは土橋です。ダビデは「主が私を喜びとされたからです」と言って、神様がダビデのことを喜んでいるので、苦しみから救い出してくれたと言っています。神様はどうしてダビデのことを喜びとしたのでしょうか。ダビデ自身は正しく歩んでいたからだと書いていますが、実際はダビデは様々な罪を犯し、正しい人であったとは言えません。神様がダビデを喜びとしたのは、ダビデ自身が神様の恵みを喜び続けたからです。私達はダビデのように正しく歩むことが最も神様を喜ばすことだと思いがちです。しかし、神様が喜ぶのは私達の正しさよりも、私達の神に対する愛や喜びです。正しく歩むのは神に対する喜びの表現の一つとして考えれば良いのです。まず、神の恵みを喜び、神を心から愛しましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2026.07.11
こんにちは土橋です。ヨハネは巻物を食べると「口には蜜のように甘かったが、それを食べてしまうと、私の腹は苦くなった」と書いています。私達は小さい頃から努力して成功を掴むように教えられているので、ここに書かれていることには違和感を感じ、『口には苦いが、腹には甘い』が良いと考えてしまいます。しかし、聖書の教えはまったく反対で、まず無条件に恵みを受け、その喜びと感謝から苦難に立ち向かい、忍耐すべきと教えていますので、ここに書かれているように『口には甘いが、腹には苦い』が正解なのです。『努力獲得型』の人生から『恵み応答型』の人生に変えていきましょう。
テキストメッセージ 音声メッセージ

2026.07.04
こんにちは土橋です。ダビデの部下はダビデに「あなたは、もうこれから、われわれと一緒に戦いに出ないでください。あなたがイスラエルのともしびを消さないために」と言いました。戦いの賜物が与えられ、今まで数々の武勇伝のあったダビデにとって、戦いに参加しなくても良いと言われることはショックだったと思います。しかし、それ以上に存在そのものの価値を認めてくれた喜びの方が大きかったと思います。ほとんどの人間は人の価値を能力ではかりますので、加齢などにより能力が失

われてきた時、自分は無価値であると悩みます。だから、兵士達のように存在そのものに価値を認めてくれることは、この上もない喜びなのです。神様は私達の存在そのものを認め、愛しています。この素晴らしい神様と強くつながることにより、あなたもダビデのように何歳になっても存在を認めてもらえるようになります。　テキストメッセージ　音声メッセージ

2026.06.27
こんにちは土橋です。第五のラッパの災いは「死ぬことを切に願うが、死は彼らから逃げて行く」というもので、耐えられないほどの苦痛が与えられるが決して死ぬことができませんでした。これはパラドックスです。第五の災いは信仰のない者が対象であり、信仰のない者はこの世での祝福にこだわっているからです。死んだ後のことはわからないので考えても仕方がないというのは、一見すれば正論のように思います。しかし、死んだ後の人生の方がこの世で生きている時間よりもはるかに長いのだから、そこに思いを向けることは絶対に大切です。見えるものは一時的であり、見えないものは永遠に続くことを忘れないでください。テキストメッセージ　音声メッセージ

2026.06.20
こんにちは土橋です。ダビデの十人の側女は、一生、やもめとなって、死ぬ日まで閉じ込められました。彼女達はアブサロムと関係をもったので、ダビデが宮殿から追い出したのです。しかし、こうなったらのはダビデの罪が原因であり、側女達には何の罪もありません。このように人生は理不尽なことの連続です。そして、どんなに信仰をもっていても理不尽な人生から逃れることはできません。しかし、信仰によって理不尽な人生であっても気にせず生きていくことはできます。なぜなら、信仰者は天に希望を置いているからです。信仰とは、現実逃避の厭世主義ではありません。天に希望を置くことによって、理不尽なこの世の中にも神の恵みがあることに気づくようになるからです。理不尽な状況にいても主にあって喜びましょう。　テキストメッセージ　音声メッセージ

2026.06.13
こんにちは土橋です。聖書には「子羊が第七の封印を解いたとき、天に半時間ほどの静けさがあった」と書かれています。ノアの洪水の昔から、神の裁きの前には静けさがありました。現在のこの世も、部分的に戦争をしているところはありますが、平和で静けさの中にいます。静けさは恵みである一方、神の裁きの前触れであることにも気づいていてください。そして、いつ裁きが来ても大丈夫なように、神様と強く結びついてください。　テキストメッセージ　音声メッセージ

2026.06.06
こんにちは土橋です。メフィボシェテは「王様が無事に王宮に帰られた後なら、彼が全部取ってもかまいません」と言ったように、彼は自分に対する祝福に関係なくダビデに忠実でした。皆さんも神様に忠実でありたいと考えていると思いますが、その理由のほとんどは、たくさんの恵みを受けているからではないでしょうか。もちろん恵みに対する感謝の思いから神に忠実であることは悪いことではありません。しかし、神様が心から願っているのは、メフィボシェテのように恵みに関係なく、神を愛し、神に従うことなのです。神様は私達を無条件で愛してくれているように、私達も神様を無条件に愛しましょう。　テキストメッセージ　音声メッセージ

2026.05.30
こんにちは土橋です。聖書には「彼らは、もはや飢えることも渇くこともなく、太陽もどんな炎熱も、彼らを襲うことはない」と書かれているように、天国では苦しいことはない一方、欲しいものもありません。ただ、神様と一緒にいることを楽しむのが天国です。苦しみがないのは嬉しいことですが、神様のことが大好きでなければ退屈だと思います。神様を心から愛するためには、神様の恵みを数え感謝することが必要ですが、感謝することと愛することはイコールではありません。この世にいる間に神様を心から愛し、天国での生活に備えましょう。　テキストメッセージ　音声メッセージ

2026.05.23
こんにちは土橋です。ダビデは、「私がおまえに代わって死ねばよかったのに」と言って息子アブサロムの死を悲しみました。ダビデがこんなに悲しんだのは、ダビデが過去に犯した姦淫の罪の罰として

息子が死んだからです。私達の人生に起こる様々なことは自分が起こしたことだけでなく、アダム以降の人々の罪の報いが入っています。それを考えるととても理不尽であり、いたたまれなくなります。しかし、イエスが「この人（盲人）が罪を犯したのでもなく、両親でもありません。この人に神のわざが現れるためです」と罪の原因を考えるのではなく、神からの目的に目を向けるように言ったのです。自分に降りかかる災いについて嘆いたり悔やんだりするのではなく、神の栄光に変えていくようにしましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2026.05.16
こんにちは土橋です。聖書には「それに乗っている者は、地から平和を奪い取ることが許された。人々が互いに殺し合うようになるためである」と書かれています。これは大患難時代に起こることの一つですが、気をつけて欲しいのは、神様が戦争が起きることを許可しているのです。神様は悪を行うことはできません。だから、どんな戦争も神様の計画の一部であり、神様の目からは正しいことです。だから、何よりもまず神の国と神の義を求めることが大切なのです（マタイ6:33）。失われない希望を持ち続けることができるように、天に希望を持ちましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2026.05.09
こんにちは土橋です。聖書は「これは、主がアブサロムにわざわいをもたらそうとして、主がアヒトフェルのすぐれた助言を打ち破ろうと定めておられたからである」と書かれているように、主の導きによりアブサロムは優れたアヒトフェルの提案を捨てて滅びに至ります。しかし、決してアブサロムは滅びる運命であったのではなく、アブサロムはプライドを捨てきれなかったので、アヒトフェルの優れた案を捨てたのです。つまり、アブサロムの滅びは神の導きであり、また彼の罪の故なのです。私達の人生のすべてには神様が背後で関与しています。だから、道を選ぶ時には、まず自分の思いを捨てて神の思いを聞くことが大切です。もちろん、それでも災いは起こります。しかし、それは十字架のように恵みをもたらす災いですので、喜んで受け取ることが大切です。とにかくこの世で起きることにあまり囚われず、神様第一で生きましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2026.05.02
こんにちは土橋です。ヨハネは天から見た様子を描いていますが、その中に「彼ら（24人の長老）は新しい歌を歌った」と書かれています。天国でも人々は新しい歌を歌っているのです。私達は歳を取ると新しいことをするのがおっくうになり、今まで経験したことに基づいて生きていこうとします。しかし、神様を見上げているといつまでも新しい発見があります。なぜなら、神様は無限大に素晴らしいからです。そして、神様について新しく発見するのは死んでからも永遠に続きます。だから、天国でも新しい歌を歌うのです。すごく素晴らしいと思いませんか。この世に囚われずに、神様だけを見上げ、新しい神様の魅力を発見し、新しい歌で賛美しましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2026.04.25
こんにちは土橋です。ダビデはシムイに血まみれの男だと罵られた時、「彼に呪わせなさい。主が彼に命じられたのだから」と言って、何のアクションも取りませんでした。神はすべての出来事を支配しています。だから、人間にとって悲惨な出来事が起こっても、神様が背後でその出来事が起こることを承認しているのです。嫌なことが起こるとほとんどの人は、落ち込むか、嘆くか、怒るか、悲しんで神様のことを忘れてしまいます。しかし、大切なのはダビデのように、すべてが神様の御手にあることを意識し、神様にゆだねることです。そうすれば日々イライラせずに過ごすことができます。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2026.04.18
こんにちは土橋です。聖書は「あなたが万物を創造されました。みこころのゆえに、それらは存在し、また創造されたのです」と書いています。私達がこの世に存在するのは御心のゆえなのです。「誰も認めてくれないので生きていてもしょうがない」と嘆くのは神様に対して失礼です。神様は私達に何かをして欲しいと考えているので、私達は存在するのです。思うように人生がいかないことを嘆くので

はなく、存在が与えられていることに感謝して、喜んで生きていきましょう。　テキストメッセージ　音声メッセージ

2026.04.11
こんにちは土橋です。ダビデはアブサロムがヘブロンで王となり人々の心も彼になびいていることを聞くと、「さあ、逃げよう。そうでないと、アブサロムから逃れる者はいなくなるだろう」と言って、アブサロムと戦わずに逃げることを選択しました。神に信頼し、苦難に立ち向かうことが信仰者の姿だと考えている人は、逃げることは不信仰だと思うかもしれません。しかし、自分や家族の命を守るために逃げることも、御心である場合もあるのです。祈り求めればどちらを選ぶべきか神様は必ず示してくださいます。バイアスをかけずフラットな心でいつも神に祈り求めましょう。 テキストメッセージ　音声メッセージ

2026.04.04
こんにちは土橋です。主の復活をお祝い申し上げます。エマオの道で二人は復活のイエスに出会い救われました。彼らは、「私たちは、この方こそイスラエルを解放する方だ、と望みをかけていました」と書かれているように、イエスがローマ帝国の圧政から物理的に救い出してくれる方だと信じていました。しかし、助けてくれるはずのイエスが十字架で死んでしまったので、イエスは本当はどんなお方であるかを知りたくなり、イエスが死と罪から解放してくれる霊的な救い主であることを知って、救われたのです。ほとんどの人は何らかの形で神様に祈りますが、そのほとんどは自分の祝福を願っているにすぎません。しかし、それは信仰ではありません。信仰とは「神様とはどんな方なんだろう」「神様は私達に何をして欲しいと願っているのだろう」と神様について考え、苦しいと状況にあっても「神様がなさることなら最善の道に違いない」と神様を信頼することです。どうか自分が何を求めて祈っているのかを、自分の信仰を吟味してください。　テキストメッセージ　音声メッセージ

2026.03.28
こんにちは土橋です。キリストは「あなたは生ぬるく、熱くも冷たくもないので、わたしは口からあなたを吐き出す」と言いました。信仰はぬるくなってはいけません。しかし、どんなにあつあつのコーヒーでも常温に置いていたらぬるくなるように、どんなに熱い信仰をもっていても、この世に接していたらぬるくなります。ぬるくならないようにするためには、信仰も常に温め続けることが必要です。つまり、常に神様とつながっていないとぬるくなってしまうのです。朝夕に聖書を読み、神に祈り求めるだけでは不十分です。何をする時も御心を求め続けてはじめて熱い信仰を保つことができるのです。 テキストメッセージ　音声メッセージ

2026.03.21
こんにちは土橋です。アブサロムは、「イスラエルのどこにも、アブサロムほど、その美しさをほめそやされた者はいなかった」と言われるほど美しい人物でした。しかし、その容姿の美しさのため彼に意見をするものはなく、とてもわがままに育ち、自分中心の性格になりました。彼の最大の長所は最大の短所となったのです。人間の性格はコインの裏表のようなもので、ある面から見ると良い性格が、反対から見ると悪い性格になるのです。神様は決して悪いものをお造りになりません。短所だと思っているのは、使い方が悪いのです。神様の創造を思い出し、良い面だけをあらわすようにしましょう。　テキストメッセージ　音声メッセージ

2026.03.14
こんにちは土橋です。ヨハネはエペソの教会に対して「あなたは初めの愛から離れてしまった」と言って神様との関係がマンネリ化したことを責めました。夫婦関係を含めすべての人間関係がはじめの愛から離れる危険性があります。そうならないようにするには、関係を日々新しく更新することが必要です。神様との関係を日々新しくするということは、十字架の愛に立ち返るということです。一度悔い改めて福音を信じたらすべての罪が赦されるので、十字架に戻ることはしないクリスチャンも多いようです。しかし、十字架の愛に日々立ち返らないと、神様との関係も薄れて形式的な信仰になってしまいます。私達の信仰の中心は十字架です。嬉しい時も、腹立たしい時も、悲しい時も、楽しい時もいつも十字架に立ち返りましょう。 テキストメッセージ　音声メッセージ

2026.03.07
こんにちは土橋です。アムノンは義理の妹のタマルを辱めた時、「激しい憎しみにかられて、彼女を嫌った」と書かれています。明らかに自分が罪を犯しているのに罪を認めず、タマルのせいにしているのです。これはアムノンだけに限ったことではありません。私達は生まれ罪人であり、自分の罪を認める能力に欠けています。仮に間違いを認めても、「あんなにたくさんの仕事を私に与えるから間違えるのよ」と100%自分の罪を認めることは、ほとんどしません。一方、ダビデはたくさんの罪を犯しましたが、完全に自分の罪であることを認めることができました。神様との正しい関係の第一歩は自分の罪を完全に認めることから始まります。自己を正当化することをせず、素直に罪を認めることを心がけましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2026.02.28
こんにちは土橋です。キリストは「わたしはアルファであり、オメガである」と言われました。アルファとはギリシア語アルファベットのはじめの文字であり、オメガとは最後の文字です。キリストはこの世を造られた方であるとともに、この世を完成させる方であることを意識して生きていくことは大切です。造られた者としてこの世を良くしようと努めるとともに、不完全なこの世の苦難や理不尽に嘆くことなく、完全なる世界が来ることに希望を抱いて生きていくことが神様が望む生き方です テキストメッセージ 音声メッセージ

2026.02.21
こんにちは土橋です。ダビデは子どもが死なないように断食して、泣きながら一晩中祈り続けました。しかし、子どもが死んだことを聞くと、祈るのをやめ食事を取りました。ダビデの願いは叶いませんでした。しかし、そうなることが神様にとって最善であると信じ受け入れたので、それ以上悲しまなかったのです。私達の人生は苦しみや悲しみで満ちています。それらは自分も含めた人間の罪の罰として起こることは否めません。しかし、同時に神様が与えてくれる最善の道でもあるのです。罪を悔い改めた後は過去にこだわらず、すべてが恵みであると信じて生きていきましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2026.02.14
こんにちは土橋です。パウロは「あなたがたのことばが、いつも親切で、塩味の効いたものであるようにしなさい」と言いました。スイカに塩を少し振りかけると、スイカが更に甘く美味しくなります。塩味とはこのように素材の味を引き立てる役割をしてくれます。私達も神様に造られた素材です。私達が神の恵みに気づいて生きる時、塩を振りかけるように、私達が何十倍も素晴らしく輝き出すのです。神様が悪いものを造るはずはありません。私達が輝かないのは、神様を意識して生きていないからだけなのです。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2026.02.07
こんにちは土橋です。ダビデは神様を忘れ、次々と罪を犯しました。その発端となったのは、「しかし、ダビデはエルサレムにとどまっていた」と書かれているように戦いに参加せずエルサレムにいたからです。ダビデは神様から戦う使命が与えられていたので、戦いに参加しないことは使命を無視することとなったのです。聖書の教えを守ることも神に従うことですが、それだけでなく自分に与えられた使命を忠実に果たすことも神に従うためには重要であり、また使命を果たそうとしている限り罪からも守られます。自分の使命がわからないと悩んでいる人は神の啓示を受け入れようとしていないからです。神様は直接語りかけることよりも、周りに状況変化を通して自分の思いを伝えようとし続けています。使命を確信し、使命に忠実となり、罪から解放されましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2026.01.31

こんにちは土橋です。パウロは「上にあるものを思いなさい。地にあるものを思ってはなりません」と言いました。これだけを読むと、「私達の人生に起こることには神様が与えるものとそうでないものがあり、神様が与えるものだけを選びなさい」と言っているように思えます。しかし、そうではなく、ここは

「私達の人生に起こることすべてが神様が与えるものであり、必ず前向きな意味があると思いなさい」と解釈すべきです。確かに努力しているのに悲惨な結果となった時には、「神様なんて私のこと少しも考えてくれない」と思うかもしれません。しかし、その悲惨な結果も神様が与えてくれた恵みであると信じる時、神様からの平安が与えられるのです。困難を取り除いてもらうために信仰があるのではなく、困難の中にも平安で満たされるために信仰があるのです。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2026.01.24
こんにちは土橋です。ハヌンは弔問のために送られたダビデの家来たちを捕らえ、ひげを半分剃り落とし、衣を半分に切って尻のあたりまでにして送り返しました。ハヌンは彼らがスパイであると勘違いして罰したのですが、その根本にはダビデに「ハヌンは父ナハシュのように国を治めることができないだろう」と馬鹿にされているという思いがあったのだと思われます。もちろんダビデにはそんな気持ちは全くありませんでしたが、ハヌンの自己肯定感が低かったので、何を言われても馬鹿にされていると感じたのです。人間は自分の能力や外見などの目に見えるものに心を向けた時、ハヌンのようにどうしようもなく自分が嫌になります。しかし、神が「私の目にはあなたは高価で尊い」と言っているように、人間は何も成し遂げていなくても存在そのものに価値があるのです。自分のことで悩むことをやめ、神に用いられることだけを考えて生きていきましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2026.01.17
こんにちは土橋です。 パウロは「あなたがたは主キリスト・イエスを受け入れたのですから、キリストにあって歩みなさい。キリストのうちに根ざし、建てられ、教えられたとおり信仰を堅くし、あふれるばかりに感謝しなさい」と信仰生活の心得を述べました。信仰生活とは、成長したいと必死になって何かを獲得しようと努力し続けるものではありません。キリストの恵みを喜んで受け続け、キリストと共に歩み、キリストにある喜びが溢れそうになったら周りの人々に分け与える、それを続けるだけでいいのです。自然体で力を抜いた信仰生活をしていきましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2026.01,10
こんにちは土橋です。9章は「メフィボシェテはエルサレムに住み、いつも王の食卓で食事をした。彼は両足がともに萎えていた」という言葉で終わります。メフィボシェテは友情契約を結んでいたヨナタンの息子であったので、本来は殺されるところを生かされ、サウルの土地を返却され、いつもダビデと一緒に食事をすることができました。問題は「彼は両足がともに萎えていた」とどう解釈するかです。多くの人は「しかしながら、彼は両足が萎えていたので、楽しく幸せな人生を過ごすことができませんでした」と解釈するでしょう。しかし、私は「さらに、彼は両足が萎えていたので、恵みに奢ることなくへりくだり、最後までダビデに忠誠を尽くしました」と解釈します。実際にメフィボシェテには両方の出来事が起こります。しかし、神様が私達に願うのは絶対に後者の考え方です。神から与えられているものを嘆くのをやめましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2026.01.03
こんにちは土橋です。パウロは『今、私は、あなたがたのために受ける苦しみを喜びとしています」と自分が投獄されていることを喜びました。ほとんどの人は苦難を嘆き悲しみますが、稀に苦難を喜ぶ人がいます。彼らは苦難による忍耐が人を成長させてくれると考えているからです。しかし、パウロが苦難の中で喜んでいたのは、自己の成長のためでなく、苦難の中で喜ぶことが神の栄光をあらわすと考えていたからです。 自己実現を目指している限り、本当の満足は得られません。キリストのために生き、いつも満足した人生を送りましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.12.27
こんにちは土橋です。神様はダビデに「わたしの恵みは、わたしが、あなたの前から取り除いたサウルからそれを取り去ったように、彼から取り去られることはない」と言って、ダビデの子孫から恵みが取り去られないことを約束しました。これがダビデ契約であり、無条件で与えられた契約です。キリストが与える救いの恵みも無条件であり、神様から一方的に与えられます。しかし、人間は無条件に与えられることを気持ち悪がり、受け取らずに努力して獲得しようとします。残念ながら一生懸命努力すればするほど、恵みを否定することになり、神から離れてしまいます。素直に恵みを受け取れるようになりましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2025.12.20
こんにちは土橋です。パウロは「どうか、あなたがたが、あらゆる霊的な知恵と理解力によって、神のみこころについての知識に満たされますように」と祈りました。聖書を読む時、「私の人生にとって役にたつことがないか」と思いながら読んでいないでしょうか。聖書は万能の書物なので、そういう風に読んでも得られることはありますが、神様が望む読み方ではありません。聖書は神の思いが書かれているので、「神様は私がどのようであることを望んでいるのだろうか」という思いで読まないといけません。聖書を通して神様と強く結びつきましょう。　テキストメッセージ　音声メッセージ

2025.12.13
こんにちは土橋です。ウザは神の箱を牛車でエルサレムに運ぶ途中、落ちそうになった神の箱を支えた時、神の怒りが下り殺されてしまいました。親切な行為をして罰せられるのは理不尽だと思うかもしれませんが、そうではありません。ウザは律法通りに神の箱を運ばなかった罪を犯した上に長年、神の箱が家の中に置かれていたので、神に対する畏敬の念がなくなっていたので、罰せられたのです。神様は私達に様々な神の恵みを日々与え続けてくれています。しかし、私たちは神の恵みに慣れてしまい、いつの間にか神の存在を忘れてしまっています。ウザのようにならないように、神の恵みにいつも感謝し、神に対して常に畏敬の念をもって生きていきましょう。　テキストメッセージ　音声メッセージ

2025.12.06
主の誕生をお喜び申し上げます。、御使いがマリアに処女のままイエスを産むということを告げた時、マリアは困惑しました。しかし、御使いの「神にとって不可能なことは何もありません」という言葉を聞いた時、御使いの言葉を信じ、すべてを受け入れました。神様は何でも可能であるという確信は信仰生活にとても大切です。どんなに不可能に思えることでも可能になることを期待して生きると同時に、達成できなかった願いについては、「何でもできる神様が成してくれないのだから、できない方が良かった」と前向きに受け止めることもできます。神様は私達一人一人の人生をすべて支配しています。良くても悪くても満足するようにしまでょう。　テキストメッセージ　音声メッセージ

2025.11.29

こんにちは土橋です。パウロは「私は、あなたがこれらのことを、確信をもって語るように願っています。神を信じるようになった人々が、良いわざに励むことを心がけるようになるためです」と言いました。これは簡単に言うと、単に信じるだけでなく確信をもって生きることで人生が前向きに変わると言うことです。私は神様が私の人生をすべて支配していると確信しています。だから、たとえ困難に陥っても、「神様が私に必要だから困難を与えてくれた」と考えることができ、楽に生きることができま

す。すべてにおいて神様が支配していると確信して生きてください。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.11.22
こんにちは土橋です。ダビデは戦う前には必ず主に伺いを立てました。何かをする前に神様に伺いを立てることは、一見すると主体性のない行為に見えます。しかし、信仰者にとっては最も大切な行為です。なぜなら、神様に造られている者にとって、神様の思いと一致して生きることが最も良いことだからです。日々の生活の中で何度も神に伺う習慣をつけましょう。テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.11.15
こんにちは土橋です。パウロは「年配の男の人には、自分を制する」ように勧めています。年配になると何を言っても、反論される機会が減ってきます。それは言っていることが正しいのではなく、年配になると頑固になり自分の意見を曲げないので反論しないのです。だから、言い過ぎないように自分でブレーキをかけることが必要です。自分を客観視するとともに、何を言う時も「これを言って良いでしょうか」と内なる聖霊に尋ねる習慣をつけましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.11.08
こんにちは土橋です。バアナとレカブは「ご覧ください。これは、あなたのいのちを狙っていたあなたの敵、サウルの子イシュ・ボシェテの首です」と言ってダビデにイシュ・ボシェテの首を献上して、ご褒美をもらおうとしました。ところが、ダビデは怒り、この二人を処刑します。イシュ・ボシェテは、主に油を注がれたサウルの息子だったからです。私達もこの二人のように、神様を喜ばせようとして実は怒らせていることが多いのです。私達はこの世を良くしようと一生懸命生きることが神様の喜ぶことであると勝手に思っています。しかし、神様が望んでいるのは、日々の生活の中に神の恵みを見つけ、満足して生きることであり、この世を良くして欲しいとはあまり思っていないのです。神を喜ばせるためには、いつも神様のことを考えること以外にはありません。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.11.01
こんにちは土橋です。パウロは「汚れた不信仰な人たちには、何一つきよいものはなく、その知性も良心も汚れています」と言います。信仰がなくても、心が綺麗な人や知性にあふれている人はたくさんいますが、神様にとっては、そんな人は少しも聖くもなく、知性的でもないのです。「信仰がなくては神はに喜ばれることはできません(ヘブル11:6)」と書かれているように、神への信頼を土台にしていない考えや行いは、人間の目にはどんなに素晴らしく見えても、神様は少しも評価しないのです。神への信頼を日々の生活の土台にして、満足した人生を送りましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.10.25
こんにちは土橋です。イシュ・ボシェテはアブネルにサウル王の側女と関係をもったことを非難すると、アブネルはイシュ・ボシェテに激しく怒りました。イシュ・ボシェテの言ったことが正しいことであったからです。正しいことを言われると人間はどういう訳か否定して怒り出すのです。第二テモテ1:7に「神は私たちに、臆病の霊ではなく、力と愛と慎みの霊を与えてくださいました」と書かれています。相手の間違いを指摘するときは、勇気をもって伝える(力の霊)だけでなく、相手への思いやりを表現し(愛の霊)、相手の人格を決して否定していないないことを伝える(慎みの霊)ことが必要です。力と愛と慎みを常にセットで考えましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.10.18
こんにちは土橋です。パウロは「終わりの時には、人々が健全な教えに耐えられなくなり、耳に心地よい話を聞こうとする」と言っています。現在は終わりの時であり、教会に通う人ですら自分を励ましてくれる心地よい話ばかりを求めています。しかし、自分の罪と向き合わない限り真の神を知ることができません。なぜなら、神の無条件の恵みに感謝できるのも、自分が恵みを受けるに相応しくないと認める前提があるからです。「良薬口に苦し」と言われるように、自分の罪深さが明らかにされるような話を積極的に聞きましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.10.11
こんにちは土橋です。アブネルは「いつになったら、兵たちに、自分の兄弟たちを追うのをやめて帰れ、と命じるつもりか」とヨアブのしつこさを非難し、ヨアブは「もし、おまえが言い出さなかったなら、確かに兵たちは、明日の朝まで、それぞれ自分の兄弟たちを追うのをやめなかっただろう」と戦いのきっかけをつくったアブネルを非難しました。両者の言い分は間違っていませんが、このままでは争いは決してなくなりません。争いが解決するには、お互いに自分の非を認めることが不可欠です。自分の間違いを素直に認めることが困難なのは、真に正しく強い方を知らないからです。神を信じることは自分の間違いや弱さを素直に認める強さを身につけることでもあります。虚勢をはって自分はいつも正しいと思うことをやめ、へりくだり素直に間違いを認めましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.10.04
こんにちは土橋です。「聖書はすべて神の霊感による」と書かれていますが、これはすべての言葉に神の息がかかっているということです。聖書の言葉一つ一つに神様の深い思いが込められています。言い換えれば聖書を読むことは神様と対話しているとも言えるのです。書かれている内容を理解するだけでなく、言葉の中に隠れている神様に出会うまで聖書と向き合いましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.09.27
こんにちは土橋です。ダビデは、サウルの死を知らせに来た男が嘘をついていることを知っていたにもかかわらず、「おまえ自身の口で、『私は主に油注がれた方を殺した』と証言したのだから」と言って男を処刑しました。この男は「口は災いのもと」と言われるように、口で失敗したのです。失言をなくすには、発言する前に相手の気持ちを考え、慎重に発言することが不可欠ですが、どんなに慎重になっても失言をゼロにすることは不可能です。なぜなら、人間は人それぞれが異なる考えをもっているからです。何を言う時にも、言葉の中に相手に対する思いやりの気持ちを表現して下さい。そうすれば、失言をしても赦してもらえるかもしれません。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.09.20
こんにちは土橋です。パウロは「反対する人たちを柔和に教え導きなさい。神は、彼らに悔い改めの心を与えて、真理を悟らせてくださるかもしれません」と言いました。この御言葉は神が私達のすべてを支配していることを示しています。私達は神様が働いてくれなければ、悔い改めることすらできないのです。だから、神の声にいつも耳を傾けてください。神様はいろいろな方法で、あなたにすべきことを示してくれています。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.09.13

こんにちは土橋です。ダビデは戦いに勝利することによって得た戦勝品を分配する時、「戦いに下って行った者への分け前も、荷物のそばにとどまっていた者への分け前も同じだ。ともに同じく分け合わなければならない」と言い、全員に等しく戦勝品を分配しました。この分配方法は人間の頭では不公平に思えます。しかし、神様にとっては恵みは平等に分配するのが当たり前なのです。神と人間とは異なります。神の思いを知り、従っていくために、自分を捨て、神の思いの現れである聖書を読み、少しでもいいから神と同じように考えるように心掛けましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.09,06
こんにちは土橋です。パウロは投獄され、もうすぐ殉教する状況で、「この福音のために私は苦しみを受け、犯罪者のようにつながれています。しかし、神のことばはつながれていません」と言いました。パウロは自分の命より福音を伝えることの方が大切であると考えていたのです。私達もこの世の人生が祝福されるために信じるのではなく、この世の人生よりも大切な永遠の命を得るために信じるのです。死を乗り越えましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.08.30
こんにちは土橋です。ダビデは妻も子供達もアマレク人に連れ去られ、部下からも石で打ち殺されようとしていました。しかし、ダビデはその時神から力を受け、奮い立ち、状況が一変していきます。ダビデは「自分の神」と呼ぶほど、神に思いを集中させたからです。神様は私達すべてのことを愛してくれていますので、「私達の神」と呼ぶのが一般的には適切です。しかし、誰も頼る人がいなく、神にすべてをゆだねるしかない時、「私の神、自分の神」と思えるようになります。これは決して傲慢なことではなく、神様にとっても望ましいことであり、神の力の働く時でもあります。「自分の神」と思うことができるほど、神にすべてをゆだねましょう。テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.08.23
こんにちは土橋です。パウロは気弱なテモテを励ますために、「神は私たちに、臆病の霊ではなく、力と愛と慎みの霊を与えてくださいました」という言葉を送りました。「力と愛と慎み」は誰かと会話する時、特に相手の誤りなどを指摘する時には必須事項です。つまり、言うべきことははっきりと言い（力の霊）、相手の気持ちを考えて余計なことを言わず（慎みの霊）、すべての会話に思いやりが伝える（愛の霊）ことが大切です。誰かと会話する時は、力と愛と慎みをいつも意識し、安全運転を心がけましょう。テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.06.16
こんにちは土橋です。サムエルの霊はサウルに「なぜ、私に尋ねるのか。主はあなたから去り、あなたの敵になられたのに」と言いました。サウル王は神様に謝れば許してもらえると考えていましたが、神様はサウルを許さないと言ったのです。神様の愛が欠如しているのではなく、罪ある人を無条件で許すことは、神様の正しさに反することなので、許したくても許すことができないのです。だから、キリストの十字架を信じることにより、罪を帳消しにしてもらうことがどうしても必要なのです。サウルのようにならないようにしてください。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.08,09
こんにちは土橋です。聖書には愛、希望、喜び、平安、従順といった私達が目指すべきたくさんの教えが書かれていますが、その根本となるのが「主にあって満ち足りる」ことです。人と比べたり、自分の願望と照らしたら満足できることは何一つないかもしれませんが、それでも「神の恵みは私に充分

である」と満足する時、すべてが変わってきます。どんな状況にあっても主にあって満足しましょう。
テキストメッセージ

2025.08.02
こんにちは土橋です。ダビデは今まで神が絶対守ってくれると確信していましたが、突然「私はいつか、今にサウルの手によって滅ぼされるだろう」と恐れるようになりました。理由は心が自分に向いて、自分のことばかり考えるようになったからです。人間は放っておくと自分のことばかり考えてしまい、不安になります。心を外に向けて、家族のため、他人のため、この世のため、神様のために生きていきましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.07.26
こんにちは土橋です。パウロはテモテに「真に純粋な心で勧めなさい」と忠告しました。これは、誰かにアドバイスする時は、「相手のことを心から思う気持ち以外の不純な動機は決して入れてはいけない」ということです。人間はいつの間にか自分のことを認めて欲しいという思いや、相手に対するネガティブな思いが混入してしまい、せっかくのアドバイスが濁って無駄になってしまいます。へりくだり、自分に満足して生きることにより、そういう不純物が取り除かれます。純粋な心で人に接しましょう。
テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.07.19

こんにちは土橋です。ダビデは、彼に親切にパンを与えてくれたアヒメレクがサウルに無惨に殺された事実を知った上で、「主は一人ひとりに、その人の正しさと真実に応じて報いてくださいます」と言いました。ダビデは、アヒメレクの善行に対する報いは天国で得られると確信していたのです。私達は生まれてから死ぬまでというとても短い期間の中ですべての出来事が閉じていると考えているので、人生が矛盾に満ちた不公平なものとなってしまうのです。 見えるものは一時的であり、見えないものは永遠に続きます。見えないものに目を留めるようにしましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.07.12
こんにちは土橋です。パウロは『肉体の鍛錬も少しは有益ですが、今のいのちと来たるべきいのちを約束する敬虔は、すべてに有益です」と言いました。肉体を鍛えることはこの世での生活を充実させるためには有益ですが、死んでしまえば何も残りません。しかし、神を知り、少しでも神のような愛を身につけようと霊性を鍛えることは、一生衰えることがないだけでなく、肉体が滅んだ後の生活の土台となります。聖書は「私たちは見えるものにではなく、見えないものに目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものは永遠に続くからです（コリント第二4:18）」と言います。見えないものに目を留めて、生きていきましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.07.05
こんにちは土橋です。アビガイルはダビデに復讐をやめるようにお願いした時、ダビデは彼女の願いを素直に受け入れ、「主は私を引き止めて、あなたに害を加えさせなかった」と喜びました。多くの人は他人から間違いを指摘された時、それを素直に受け入れず、たとえ指摘が正しくても「誰だって間違いがあるのに、そんなこと言わなくても良いのに」と指摘した人を心で責めます。しかし、ダビデは間違いを即座に認めることができました。なぜなら、神がダビデに語っていると信じることができたからです。人を見ると私たちはつまずきます。人の背後にある神の思いに心を向けましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.06.28
こんにちは土橋です。第一テモテ3章には教会の監督者になる条件が列挙されていますが、その中の一つに「信者になったばかりの人であってはいけません」という条件があります。信徒になったばかりの人は聖書の知識や忍耐の経験があまりないので、監督者にふさわしくないと考えてしまいますが、そうではありません。信者になったばかりの人は神様のことに熱心になりすぎて、ベテラン信者を見下すようになるからです。理想は信者になったばかりの頃の神への熱心さを継続させるのが良いのですが、慣れる動物である人間は神様の恵みにも慣れてしまい、神への感謝や愛も徐々に薄れてくるのです。神様に初めて出会った時の感動をいつも思い出し、いつまでも神様に熱くなりましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.06.21
こんにちは土橋です。ダビデは自分の命を狙っていたサウルを殺す絶好の機会があったにもかかわらず、「どうか、主が私とあなたの間をさばき、主が私のために、あなたに報いられますように」と言って神に裁きをゆだねました。「やられたらやり返す」という言葉が流行りましたが、これは聖書の教えではありません。誤解や潔白は晴らすことは必要ですが、復讐するのは良い行いではありません。悪を暴くだけでなく、悪の連鎖を断ち切ることを考えましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.06.14
こんにちは土橋です。パウロは「女は、慎みをもって、信仰と愛と聖さにとどまるなら、子を産むことによって救われます」と言いました。これを読んだ方の多くは、「これは聖書の書かれた時代に適用すべきことで、今の時代には不適切な考えだ」と思うでしょう。しかし、ここに書かれていることは現在でも適用すべて真理なのです。不適切だと考えるのは、創造の秩序の概念がないとともに、子育ての価値を低く考えているからです。子どもを産んで育てることは、社会で働いてお金を稼ぐことと同等の価値があります。もっと次世代のための時間を費やしましょう。 テキストメッセージ 音名メッセージ

2025.06.07
こんにちは土橋です。ケイラの人々は、ダビデ達には略奪された物をペリシテ人から取り返してくれた恩があるにもかかわらず、自分達の身を守るためにダビデ達をサウル王に引き渡すだろうと神様は予見しました。私達はどんなに非難を受けても自分のことを一番大切にします。しかし、イエス・キリストを信じる者は自分よりも大切なものがあります。それは神様です。皆さんも自分よりも神様のことを一番大切にしているかをチェックしてみて下さい。テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.05.31
こんにちは土橋です。パウロは「キリスト・イエスは罪人を救うために世に来られたということばは真実であり、そのまま受け入れるに値するものです」と言いました。そのまま受け入れることは簡単なようで非常に難しいことです。なぜなら、自分がどうしようもない罪人であると素直に認めることや、キリスト以外に救いの道はないと素直に認めることは、人間には非常に難しいことであるからです。そかし、素直に受け入れた瞬間に闇が光に変わり、神の臨在を感じることができるのです。素直に罪を認め、素直に御言葉を受け入れましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.05.24
こんにちは土橋です。ダビデは逃亡先のモアブの王に「神が私にどのようなことをされるか分かるまで、どうか、父と母をあなたがたと一緒に住まわせてください」とお願いしました。ダビデは最初は苦

難が終わることだけを願っていましたが、徐々に苦難は神様が与えたことであり、何かをダビデに伝えようとしていることに気付いたのです。私達もダビデと同じように考えることが必要です。早く苦難から解放されるように願うだけでなく、なぜ苦難が与えあられたのか、苦難の目的を考えるようにしましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2025.05.17
こんにちは土橋です。聖書は「食物の規定によらず、恵みによって心を強くするのは良いことです」と言っています。神様が私達に望んでいるのは、神様が与えてくれているものを見つけ、恵みとして受け取り、喜ぶことです。しかし、私達はそんな簡単なことを神様は望んでいるはずはないと考え、聖書の規定を守ったりして努力して神様に認めてもらおうと考え、その結果神様が見えなくなってしまいます。あなたの周りには神の恵みでいっぱいです。まず神の恵みを受け取り、喜びましょう。 テキストメッセージ　音声メッセージ

2025.05.10
こんにちは土橋です。ダビデはサウル王から逃げていましたが、イスラエルの中では顔が知られているので、異邦人のガテに逃げました。しかし、ガテでもダビデは知られており、捉えられてしまいます。ダビデはガテの王を恐れ、気違いのふりをしたのです。あれほど主だけを仰ぎ見て歩んでいたダビデでさえ、人を恐れて神が見えなくなったのです。後にこの時のことを振り返り、詩編34:1で「私はあらゆるときに主をほめたたえる」と言いました。なぜなら、神をいつも賛美していると、苦難が与えられても神様を見上げて歩むことができ、恐れがなくなるからです。「困った時の神頼み」ではなく、「困ってなくても神たたえ」の習慣を身につけましょう。 テキストメッセージ　音声メッセージ

2025.05.03
こんにちは土橋です。「すべての訓練は、そのときは喜ばしいものではなく、かえって苦しく思われるものですが、後になると、これによって鍛えられた人々に、義という平安の実を結ばせます」と書かれているように、この世で経験する苦難は神の訓練であり、乗り越えると平安がもたらされます。苦難の中にいる時、苦難の原因を知ろうとしたり、苦難から逃れようとはせず、「この苦難は神様が与えてくれた恵みであり、私にとっては必要なもの」と苦難を受け入れるように心がけてください。苦難の中にあっても、心の平安を見い出すことができるでしょう。 テキストメッセージ　音声メッセージ

2025.04.26
こんにちは土橋です。ヨナタンはダビデと友情で深く結ばれており、ダビデが父サウルに代わって王となるべきだと考えていました。しかし、息子として最後までサウル王に仕えることが彼の使命であると考え、サウル王のそばを離れませんでした。イエスは「だれでもわたしに従って来たければ、自分を捨て、自分の十字架を負って、わたしに従って来なさい」と言いました。「自分の十字架を負って」とは与えられた環境を受け入れるということです。自分の望む状態でなくても文句を言わずに、置かれた場所で花を咲かせましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2025.04.19
こんにちは土橋です。イースターおめでとうございます。マグダラのマリアは復活したイエスが目の前にいるのに、誰だかわかりませんでした。しかし、イエスが「マリア」と名前を呼んだ途端に、イエスが復活したことに気づきました。名前を呼ぶとは個人的に知っているだけでなく、個人の存在を認めていることを意味します。神様は何もできなくても私達のことを価値ある存在として認めて、見続けてい

るのです。周りの人からの承認欲求を得るために無理して生きることをやめ、神様がいつも存在を認めてくれていると安心して、自分らしく生きるようにしましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.04.12
こんにちは土橋です。聖書は「彼（モーセ）は、キリストのゆえに受ける辱めを、エジプトの宝にまさる大きな富と考えました」と書いています。モーセはエジプトの王子の地位を捨てて、イスラエルの民をエジプトを脱出させるリーダーになりましたが、なぜキリストのゆえに辱めを受けたのでしょうか。これは、「モーセがイスラエルの民をエジプトの奴隷から解放する」ことは、「キリストの十字架の死によって信じる者すべてを罪から解放する」ことの前触れになっており、リンクしているということです。聖書に書かれている記事は、旧約聖書であってもすべてイエスキリストとつながっており、イエスキリストを通してすべてが完成します。それほどイエスの十字架の贖いには力があるのです。その贖いを私達はただ信じるだけで得ることができることが、どんなにありがたいことか再確認してください。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.04.05
こんにちは土橋です。サウルは自分より活躍するダビデを見て嫉妬し、殺そうとしました。しかし、息子ヨナタンは「彼が自分のいのちをかけてペリシテ人を討ったので、主は大きな勝利をイスラエル全体にもたらしてくださったのです」とサウルの心を自分自身からイスラエルの国に向けたので、サウルのダビデに対する殺意は一時的になくなりました。人間は自分のことばかり考えると、嫉妬したり、落ち込んだり、傲慢になったり、罪ばかり犯してしまいます。心を常に神と隣人に向けて、極力自分のことを考えないようにしてください。そうすれば、健全な精神を保つことができます。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.03.29
こんにちは土橋です。聖書は「信仰がなければ、神に喜ばれることはできません」と言います。私達の人生には、困難を乗り越えたり、目標を達成したりして、喜びに満たされることがあります。 その時神様も一緒に喜んでくれているのだろうと思っている人が多いと思いますが、そうではないのです。どんなにこの世で素晴らしいことを成し遂げても、信仰がなければ神様は喜んでくれないのです。どんな些細なことでも私達が主にあって満足し喜んでいる時、神様が喜んでくれます。もっと神様を意識して生きていきましょう。テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.03.22
こんにちは土橋です。サウル王は「サウルは千を討ち、ダビデは万を討った」という歌を聞いて激しく怒り、不機嫌になり、ダビデを殺そうとしました。みなさんはサウル王に対して、そんなことで殺そうとしなくてもいいと思う反面、少しは同情する気持ちがあるのではないでしょうか。それは、プライドが完全なる罪であると思っていないからです。なぜなら、人に負けたくないというプライドがモチベーションとなり、成功した経験があるので、プライドを人間には必要なものと思っているのです。しかし、プライドは最も取り除くべき罪であり、プライドがなくなると生きることが本当に楽になります。何事にも優劣を考えるのではなく、平等に考え、他人との違いを受け入れ、喜びましょう。テキスト 音声

2025.03.15
こんにちは土橋です。聖書は「ある人たちの習慣に倣って自分たちの集まりをやめたりせず、むしろ励まし合いましょう」と言っています。同じ思いをもった者同士が集まると、自分の考えが正しいことを確信でき、ものすごく力づけられます。しかし、間違った考えでも盲信してしまう危険性もあります。異

なった賜物や考えをもったものが同じゴールを目指している時に良い集まりとなります。違いを尊重し、同じゴールを目指して集まり、励まし合いましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.03.08
こんにちは土橋です。ダビデは「獅子や熊の爪からしもべを救い出してくださった主は、このペリシテ人の手からも私を救い出してくださいます」と言いました。ダビデは末っ子で父エッサイから存外に扱われ、通常は召使いがする羊飼いの仕事を与えられていましたが、その時の経験がゴリアテとの戦いの勝利をもたらしましたのです。人から受ける言動に注目すると不公平や不平等に苛立つことが多いのですが、その背後に神の計画があると信じれば、どんなことも必ず益になります。いつも神に心を向けておきましょう。テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.03.01
こんにちは土橋です。聖書は「キリストも、多くの人の罪を負うために一度ご自分を献げ、二度目には、罪を負うためではなく、ご自分を待ち望んでいる人々の救いのために現れてくださいます」と書いています。これはキリストの十字架の死による贖いを信じすべての罪が永遠に赦された人は、喜びのあまりキリストがもう一度来られることを心から待ち望むようになるということです。みなさんはキリストの再臨を待ち望んでいますか。そこまでの思いを持てない人は、100%神と向き合っていない部分がどこかに存在しているのです。今まで神様から頂いた恵みを思い出し、神様とまっすぐに向き合いましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.02.22
こんにちは土橋です。神様は外見によって次の王を選ぼうとしていたサムエルに対して、「人はうらべを見るが、主は心を見る」と言って、外見よりも内面を見るようにアドバイスしました。これは誰しも納得する言葉です。しかし実際は、信仰のない人は「性格や人格が大切だ」と考える一方、信仰のある者は「神をいつも見上げる心の向きが大切だ」と異なる理解をしています。努力して自分を高めようとすることより、いつも神様とつながっていることに注目して生きていきましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.02.15
こんにちは土橋です。聖書は「神は、新しい契約と呼ぶことで、初めの契約を古いものとされました。年を経て古びたものは、すぐに消えて行くのです」と言い、イエスキリストを信じるためには、今まで信じていたことを捨てなければいけないと忠告しました。私達は古いものを完全に捨て切ることは苦手で、温故知新の諺が示すように、古きものの良い点は引き継ぎながら新しい考えを取り入れることがベストであると考えています。この弁証法的考えはこの世の中においては必要不可欠なことですが、信仰においては良くないことであり、こういう中途半端さを持っている限り、信仰をもつことはできません。イエスキリストの愛に気づいているなら、すべてのことを捨て去って、従っていきましょう。
テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.02.08
こんにちは土橋です。サムエルはサウルに「聞き従うことは、いけにえにまさり、耳を傾けることは、雄羊の脂肪にまさる」と言い、サウル王の不従順を非難しました。これは儀式的、あるいは道徳的な行為には意味がなく、神を喜ばそうとする心のみが大切であると言っているのです。何をする時も、その前に「これって神様が喜んでくれることなんだろうか」と考える習慣をつけてください。何の変化のない人生も喜びで満たされるでしょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.02.01
こんにちは土橋です。聖書は「ご自分によって神に近づく人々を完全に救うことがおできになります。いつも生きていて、彼らのために、とりなしをしておらるからです」と言っています。私達の多くは、「救い＝イエスの十字架の死による贖い」と考えています。しかし、救いを完成させるのはそれだけでなく、イエスが今も生きていて、私達と父なる神との仲介者としてとりなしてくれているからなのです。信じて終わりではなく、いつもとりなしてくれている大祭司イエスがおられることを思い、神に従って生きていきましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.01.25
こんにちは土橋です。ヨナタンは「おそらく、主がわれわれに味方してくださるだろう。多くの人によっても、少しの人によっても、主がお救いになるのを妨げるものは何もない」と言いました。彼は神様は人間とは違うことをはっきりとわかっており、人間的には不可能な状況でも神様は可能であると信じていました。しかし、神が人間を超えているという事実は、「おそらく」という言葉が暗示しているように、人間にとって悪い結果も受け入れる覚悟が必要なことも示しています。神がなさることは、人間にとっては最悪でも、神様にとっては常に最善です。どんな状況も神の恵みだと受け入れることのできる信仰を身につけましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.01.18
こんにちは土橋です。「神は、約束の相続者たちに、ご自分の計画が変わらないことをさらにはっきり示そうと思い、誓いをもって保証されました」と言われました。神様は私達を見守って助けてくれるだけでなく、私達一人一人に計画をもっています。人生とは神様の計画を探し求めて、それに従おうとすることであり、それ以外にはありません。神様の計画に沿った人生を歩みましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.01.11
こんにちは土橋です。サウル王はサムエルの到着を待てず、祭司にしか出来ないささげ物を献げました。しかしサウル王はサムエルに対し、自分は悪くないと自己正当化しました。自分の罪を認めることは自己を否定することになり、非常に辛いことです。しかし、「もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます（ヨハネ第一1:9）」と書かれているように、罪を告白した後は神様との深い交わりを経験することができます。素直に罪を告白する習得をつけましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2025.01.04
こんにちは土橋です。明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。聖書は「大祭司は自分自身も弱さを身にまとっているので、無知で迷っている人々に優しく接することができます」といいます。弱点を努力によって克服することは素晴らしいことですが、それ以上に素晴らしいことは、弱点を長所に変えることです。できないことを嘆く人生から、できなくても喜ぶことのできる人生に変えていきましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2024.12.28
こんにちは土橋です。サウル王は、アンモン人との戦いに勝利した後、王に反対していた人々を殺そうとしていた人々に対して、「今日はだれも殺されてはならない。今日、主がイスラエルにおいて勝利

をもたらしてくださったのだから」と寛大な姿勢を示しました。祝福されている時は誰しもサウル王のように寛大な心を持てますが、大切なのは祝福されていない時も同じように寛大になれることです。いつでも寛大になるためには、「神様を第一にする」「すべてが恵みだと考える」「目の前の結果にこだわらない」「自分を捨てる」など方法はたくさんあります。とにかくどんな時も神様と同じように考えて行動できるようにしましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2024.12.21
こんにちは土橋です。聖書は「神の安息に入る人は、神がご自分のわざを休まれたように、自分のわざを休むのです」と言われます。これは簡単に言えば、「神の平安を得るためには、一生懸命働いてはダメであり、神にゆだねなさい」ということです。これは簡単なようで難しいことです。なぜなら、人間は自分の努力で獲得することが正しいことだと思い込んでいるからです。もちろん、人間は何もしなくて良いのではありません。神に従うために苦難や努力は必要です。しかし、神に完全にゆだねていれば、何が起こっても安心なのです。神の平安を得るために、もっと神を意識しましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2024.12.14
こんにちは土橋です。サウルはイスラエルの王になることを人々の前で言われた時、自信がなくて荷物の間に隠れていました。しかし、王になってからは一転して傲慢な王になりました。信仰のない者は人に認められているかばかり気になり、その結果、臆病になったり傲慢になったりします。一方、信仰のある者は神だけが気になるので、誰に対しても平等な人間関係を築くことができ、臆病になったり傲慢になることはありません。神に思いを向けて、人間関係のしがらみから解放されましょう。
テキストメッセージ 音声メッセージ

2024.12.07
こんにちは土橋です。イエスキリストは飼い葉桶の中で生まれました。神であり、王である方がそのような形で生まれたのは、私達を救い出し、犠牲になり、霊的に養いたいという神の愛を示すためでした。でも、私達のほとんどはそんな大きな愛に気づかずに生きています。難しいことは何もありません。自分のことばかり考えるのをやめて、神様に少しだけ心を向けてください。そうすればいつの間にか神様のことが好きになっているでしょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2024.11.30
こんにちは土橋です。聖書は「今日、もし御声を聞くなら、あなたがたの心を頑なにしてはならない」と書かれています。信仰生活で一番大切なのは神の声に忠実に従うことですが、その妨げとなるのが、心の頑なさです。心が頑なにならないようにするには、今日に集中することです。今日命がなくなると思えば、周りの非難や雑音が気にならず、素直に御言葉に従うことができます。この世で認められても天国では意味がまったくありません。まず神の国と神の義を求めましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2024.11.23
こんにちは土橋です。サウルはとても傲慢な王でしたが、王になるまではとても謙虚で、気遣いのできる人物でした。サウルは権力、地位、名声といったものを持ったので、良い性格は失われてしまったのです。イエスは「自分のいのちを得る者はそれを失い、わたしのために自分のいのちを失う者は、それを得る（マタイ10:39）」と言いました。何かを得ようと神様に願い続けるのではなく、すべてを

失っても神様がいてくれれば良いと思うことが大切です。日々、自分に向いている心を神様に向けて、生きていきましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2024.11.16
こんにちは土橋です。聖書は「イエスは、自ら試みを受けて苦しまれたからこそ、試みられている者たちを助けることができるのです」と言っています。救いとは私達の罪が赦されることですが、イエスと出会うことでもあります。いつイエスと出会うかと言えば、私達が苦しんでいる時なのです。苦しみの中にいる人はイエスとの出会うチャンスだと思い、イエスを強く求めてください。必ずイエスは語りかけてくれるでしょう。
テキストメッセージ 音声メッセージ

2024.11.09
こんにちは土橋です。サムエルは民に『その日、あなたがたが自分たちのために選んだ王のゆえに泣き叫んでも、その日、主はあなたがたに答えはしない」と忠告しました。つまり、御心に反して行ったことに対しては、神様は助けてくれないのです。一方、御心に従って歩んでいれば、神様はいつまでもそばにいて私達を助けてくださいます。私達は自由に生きることが幸せな生き方だと思いがちですが、決してそうではありません。いつも神様を意識して生きてください。これは一見すると窮屈な生き方のように思えますが、一番幸せな生き方なのです。テキストメッセージ 音声メッセージ

2024.11.02
こんにちは土橋です。ヘブル人の手紙1章2-3節には御心イエスの役割が「この終わりの時には、御子にあって私たちに語られました。神は御子を万物の相続者と定め、御子によって世界を造られました。御子は神の栄光の輝き、また神の本質の完全な現れであり、その力あるみことばによって万物を保っておられます。御子は罪のきよめを成し遂げ、いと高き所で、大いなる方の右の座に着かれました」と列挙されています。イエスはものすごい仕事量をこなしているのです。私達なら少しは休みたいと思うでしょうが、イエスは忙しく働けば働くほど喜んでくれるのです。イエスに喜んでもらうように、私達もイエスと一緒に働きましょう。テキストメッセージ 音声メッセージ

2024.10.26
こんにちは土橋です。サムエルは「心を主に向け、主にのみ仕えなさい」と言いました。私達の心が「主のみ」という状態になれば、神様は必ず私達に恵みを与えてくれます。不安がなかなか取り除かれないのは、「主のみ」になっていないからです。自分の心の中を吟味し、一つ一つ神様が嫌うものを取り除いてください。そうすれば、どんな困難の中にいても、平安で満たされます。テキストメッセージ 音声メッセージ

2024.10.19
こんにちは土橋です。ペテロは「主は、約束したことを遅らせているのではなく、あなたがたに対して忍耐しておられるのです」と言いました。これはわかりやすく言うと、「私達は都合が悪くなるとすぐ神様のせいにするが、本当は人間の方に非があり、神様は黙って忍耐しているだけである」ということです。ほとんどの人は「神様は不公平だ」と考えたことはあると思います。しかし、神様が悪を行うことは決してありません。自分に非があることを認め、同時に不公平も恵みであると考え、そのまま受け入れてください。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2024.10.12

こんにちは土橋です。「主はベテ・シェメシュの人たちを打たれた。主の箱の中を見たからである」と書かれているように、神様はベテ・シェメシュのユダヤ人が聖なる主の箱の中を見たので罰しました。彼らは律法に書いてあることをきちんと教えられておらず、知らなかったので罰せられたのです。知らなかったからと言って赦してもらえないことは、この世にはたくさんあります。例えば、いくら「私は知らなかった」と言っても、パスポートのない人間は外国に行くことはできません。同様に、いくら「私は知らなかった」と言っても、罪のある人間は天国に行くことはできません。「私は忙しくて時間がない」と言い訳などせず、聖書に親しみ、神の思いを求め続けましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2024.10.05
こんにちは土橋です。ペテロは偽教師のことを「自分たちを買い取ってくださった主さえも否定し、自分たちの身に速やかな滅びを招くのです」と言いました。簡単に言うと「イエス・キリストが神であることを否定した者は天国には行けない」と言っているのです。信仰のない方からみると、イエス・キリストが神であると信じている方が変であると思われるでしょう。しかし、不思議なことにクリスチャンはみんな「イエスは神である」と信じています。なぜなら、神様は私達がそう信じることができるように恵みを与えてくれているからです。私達のほとんどはまったく神を意識せずに生きています。しかし、神様は私達一人一人のことをずっと見ていてくれているのです。だから、もっと頻繁に神様を意識して生きてください。そうすれば、必要なものはすべてが与えられます。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2024.09.28
こんにちは土橋です。契約の箱が奪われた時、人々は「栄光はイスラエルから去った」と言って悲しみました。しかし、イエスキリストを信じる私達からは栄光は決して去りません。なぜなら、「あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから、自分のからだをもって神の栄光を現しなさい（第一コリント6:20）」に書かれているように、私達は内在する聖霊を通して神の栄光をいつでも現すことができるからです。栄光とは人間には不可能な神の素晴らしさです。苦難の中でも主にあって喜び、自分を非難する者に対しても愛を示し、神の栄光を現し続けましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2024.09.21
こんにちは土橋です。ペテロは「自分の以前の罪がきよめられたことを忘れてしまって、近視眼的になっているのです」と忠告しました。信仰は私達に祝福された人生を与えてくれるのではなく、むしろ今までなかった苦難が起こってきます。しかし、そんなことで落ち込んだりつまずいたりするのは、よくありません。いずれ経験する大きな祝福に比べれば、人生の苦難などたいしたことはありません。目の前の出来事に一喜一憂せずに、神の大いなる計画に目を向け、生きていきましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2024.09.14
こんにちは土橋です。少年サムエルは神に呼ばれた時、「お話しください。しもべは聞いております」と返答しました。「しもべは聞いております」とは、「神様の言われることにはすべて従います」という意味です。サムエルのように完全に神に服従するためには、心の中を空っぽにしておくことが必要です。心の中に「私にはできないわ」という不安や、「私は他にやりたいことがあるの」という欲望があれば、神様に従うことはできません。いつも心の中を空っぽにして、神様からの呼びかけを待ちましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2024.09.07
こんにちは土橋です。ペテロは「あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです」と言いました。これを読むと「神様はわたしたちのことを心配してくれるだけなのか。解決してくれないのか」と突っ込みたくなる人は多いと思います。しかし、そういう人は見方を変えてください。神様が心配だけしかしてくれないのは、私達が直面している思い煩いは神様が与えたものであり、私達にとって必要なものであるからです。ともに心配してくれる神様にすべてをゆだねて、困難を乗り越えましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2024.08.31
こんにちは土橋です。サムエルは小さな時から主に仕えるために、両親と離れて大祭司エリのところで育ちました。しかし、「彼の母は彼のために小さな上着を作り、毎年、夫とともに年ごとのいけにえを献げに上って行くとき、それを持って行った」と書かれているように、サムエルは両親に愛されているという思いをもちながら育っていきました。その結果、少年サムエルは、主にも人にもいつくしまれました。子育てに一番大切なのは、子どもが無条件に愛されているという思いをもつようにすることです。それが根本にあれば、自己肯定的になり、誰にも愛されるようになり、また神の愛にも気づくようになるのです。そして、いつも一緒にいなくても、サムエルの母ハンナのように愛は伝えることはできるのです。あなたの周りにもすぐに落ち込みやすい人はいると思います。その人が「私は愛されているんだ」という思いをもてるように、してあげましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2024.08.24
こんにちは土橋です。ペテロは「何よりもまず、互いに熱心に愛し合いなさい。愛は多くの罪をおおうからです」と言いました。自分が失敗した時は「私は悪くはないわ。こんなに忙しいのに私にさせたのが悪いのよ」と考えるのに、他人が失敗したら、「あの人は不注意だわ。集中力が足りないのよ」と厳しく責めることがよくあります。ペテロはこうなる原因は愛の欠如にあると言っているのです。正しさも大切ですが愛に基づく正しさでなければ、人は変わりません。他人に苦言を呈する前には、必ず愛に基づいて行なっているかチェックしましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.08.17
こんにちは土橋です。「主は彼女（ハンナ）の胎を閉じておられた」と書かれているように、神様は男の子が授かったら、その子を主に一生をささげることを神様の前で誓わせるように、わざとハンナが妊娠しないようにしていたのです。このように試練の中にいる時に我々がすべきことは、試練の中に隠されている神様の計画を見つけ、その計画に向かって歩もうとすることです。試練の中にいる人は「神様が私のことを期待してくれているんだ」と考え、喜んで忍耐しましょう。 テキストメッセージ
音声メッセージ

2024.08.10
こんにちは土橋です。ペテロは「悪に対して悪を返さず、侮辱に対して侮辱を返さず、逆に祝福しなさい。あなたがたは祝福を受け継ぐために召されたのです」と言いました。これを読んだら、ほとんどの人は「できたら最高だけど、不可能だ」と思うでしょう。しかし、よく見ると「祝福を引き継ぐために」と書かれているのです。神様は悪ばかりしていた私達に対して、永遠のいのちという大きな祝福を与えてくれたのです。そう思うと、侮辱されても祝福で返すことなど難しくないと思えるのです。救いの喜びを忘れないようにしましょう。テキストメッセージ 音声メッセージ

2024.08.03
こんにちは土橋です。士師記は「そのころ、イスラエルには王がなく、それぞれが自分の目に良いと見えることを行っていた」という言葉で終わっています。聖書では「自分の目に良いと見えることを行う」ことは良くないことで、神様の想いに従って生きることが人間らしく、また、神様を喜ばせる生き方だと考えます。しかし、一方この世では、自己実現の欲求を満たすことが人間らしく生きることであり、最も幸せな生き方とされています。神様は決して強制はせず、私たちは自由意思で生き方を選ぶことができます。良い道を選んでください。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2024.07.27
こんにちは土橋です。ペテロは「純粋な霊の乳を慕い求めなさい」と言いました。しかし、同じ箇所は英語の聖書では「lonng for the pure milk of the word」と少し違った感じになっています。これはギリシア語の「ロギコス（道理、論理）」を日本語では「霊の」と訳し、英語では「ことばの（of the word）」と訳しているからです。ここから「神様の考えていることを理解するためには、聖霊と聖書の両方を用いることが不可欠である」ことがはっきりとわかります。神の助けが必要な時は、聖霊と聖書の両方を必ず用いるように心がけましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2024.07.20
こんにちは土橋です。ミカの母は息子が盗人をしたことがわかった時、「主が私の息子を祝福されますように」と、息子の罪の罰がまぬかれるように祈りました。何という自分勝手な祈りだと思いますが、多くの人は同じように祈っているのです。つまり、神様は自分の願いを叶えてくれるために存在すると勝手に思っているのです。これはまったく反対であり、神様の思いを知り、その通り歩こうとすることが大切なのです。いつまでも神様に背を向けながら「神様、助けて」と叫ぶことをやめ、神様と同じ方向を向いて歩きましょう。テキストメッセージ 音声メッセージ

2024.07.13
こんにちは土橋です。ペテロはイエス・キリストと三年半ずっと寝食をともにしていました。そういう人がイエスのことを、①傷も汚れもない（完璧な方）、②世界の基ができる前から知られていた（創造物でなく創造者）、③死者の中からよみがえった　お方であると断言しているのです。そういう事実を考えると、私達が信じているお方が本当に神であると確信できるのです。聖書に書かれていることはすべて真実であるという確信をもちましょう。 テキストメッセージ 音声メッセージ

2024.07.06
こんにちは土橋です。サムソンはイスラエルの民をペリシテ人の支配から救い出す使命をもって生まれました。しかし、自由気ままに生き、女性にだらしなく、少しも士師らしい生き方をしませんでした。しかし、最後は自分の命を犠牲にして3000人のペリシテ人を殺して、使命を果たしました。私達もそれぞれ神様から使命を与えられており、その使命は神の力を求めている限り必ず達成されます。諦めずに、神の働きそのを求め続けましょう。 テキストメッセージ テキストメッセージ

2024.06.29
こんにちは土橋です。ペテロは「神様から救いを受けた者は、試練にしばらくあうが、その試練がその人を精錬し、神の称賛と栄光と誉れをもたらす」と言いました。あなたは「神様の栄光をあらわすために生きている」と言えますか。一応クリスチャンなので人前ではそう答えるが、本当は自分のために生きている人が多いのではないでしょうか。しかし、実は神様の栄光のために生きることは、とって

も楽な生き方なのです。いつまでも承認欲求を求めて生きることをやめ、神様はどうしたら喜んでくれるのだろうとあれこれと考え、楽しく生きましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.06.22
こんにちは土橋です。「主の霊が激しくサムソンの上に下り、アシュケロンの住民を三十人打ち殺した」と聖書には書かれています。ここだけ読むと、主の霊が大量殺人に協力したように思えます。しかし、ペリシテ人の支配からイスラエルを救い出すという神様の計画は、サムソンの怒りからくる殺人で前に進んだのです。あなたは自分の幸福達成のためだけに神様を求めていませんか。もっと神様の計画の成就を考えて生きてください。そうすると、辛い出来事に対しても平安が与えられるでしょう。 テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.06.15
こんにちは土橋です。パウロはエペソの手紙の最後に、「私たちの格闘は血肉に対するものではなく、支配、力、この暗闇の世界の支配者たち、また天上にいるもろもろの悪霊に対するものです」と忠告しました。私たちの多くは自分達の生活の中に悪霊が存在していることに気づいていません。人間関係のトラブルなど悪いことが起こると、多くの人はポジティブシンキングなど考え方を変えて乗り越えようとします。しかし、蛇の形をした悪霊が人間を騙すことによって人類の罪が始まったように、様々な問題の背後には悪霊が必ず働いているのです。だからといって悪霊を怖がる必要はありません。悪霊が働いていることに気づき、イエスキリストの権威を用いて悪霊の働きをやめさせれば良いのです。イエスキリストは私たちの罪を贖ってくれただけでなく、人間関係の模範でもあり、悪霊との戦いにおける権威でもあります。信仰の中心はイエスキリストです。キリストから離れないようにしましょう。 テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.06.08
こんにちは土橋です。エフタは神に誓ったため、娘を主にささげなければなりませんでした。このように神に誓ったことは、絶対に守らなければなりません。みなさんの多くも結婚式の時、どんな時も互いに愛して助け合うことを神様に対して誓っていると思います。神への誓いは努力目標ではなく絶対実行しなければならないことを忘れないようにしてください。 テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.06.01
こんにちは土橋です。キリスト教会はかつて霊的には人間は平等であると主張しながらも、社会的秩序として必要であると考え、奴隷制度に反対しませんでした。このように人間のニーズから聖書を読むと、どうしても罪が入り歪んだ解釈を引き起こしてしまうのです。自分の心を空にして、神様のニーズを知るために日々聖書を読みましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.05.25
今日はギデオンの息子の一人のアビメレクの話です。アビメレクはギデオンの他の息子70人を殺し、王になります。しかし、3年後に神はわざわいの霊を送り、アビメレクの支配は終わっていきます。「神はわざわいの霊を送り」というところだけを見ると、「神様なのにわざわいを起こすなんて信じられない」と災いを否定的に考えますが、文脈を把握している人は「これで状況は良くなってくる」と災いを肯定的に考えます。私達に災いや苦しみが起きた時も同じです。災いを否定的に考えている人は自分が犯し続けている罪に気づいていないのですが、自分の罪深さに気づいている人は災いを肯定的にとらえることができます。神様は決して私達に益にならないことを与えません。災いをも恵みであると思える信仰をもちましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.05.18
こんにちは土橋です。聖書は「妻はすべてにおいて夫に従いなさい」と命じています。これだけ聞くととても実行することは不可能です。しかし、この命令には「夫はアガペの愛を妻に示して、妻が自発的に夫に従うようにしなければならない」と「妻と夫はお互いに独立した平等な存在でもある」の二つの前提があります。このように聖書の言葉は文脈や聖書全体から解釈する必要があり、一部分だけを切り取って判断することはとても危険です。これは聖書だけでなく、人間関係についても当てはまります。私たちは投げかけられた一つの言葉だけに反応して人に対して怒りや憤りを覚えますが、その言葉の背景には数多くの事柄が隠れています。一つの言動で人を判断するのではなく、裁きは神にゆだね、いつも平安でいましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.05.11
こんにちは土橋です。ギデオンがミディアン人から奪った分捕り者でエポデを作って自分の故郷のオラフに置いたことを聖書は「それはギデオンとその一族にとって罠となった」と書いています。ギデオンは祭司でもないのに自分を祭司として扱ったためです。しかし、ギデオンの晩年は聖書には「ヨアシュの子ギデオンは幸せな晩年を過ごして死に、アビエゼル人のオフラにある父ヨアシュの墓に葬られた」と書いています。神様は公平な方であり、私達が生きている間にしたことすべて公平に裁きになります。しかし、行いの報いが生きている間に起こるとは限らず、この世だけを見ていると非常に不公平なことが起こり続けています。「天に宝を蓄えなさい（マタイ6：20）」に書かれているように、私たちの思いをこの世ではなく天の御国に向けて生きていきましょう。そうすれば主による平安が与えられます。テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.05.04
こんにちは土橋です。パウロは「実を結ばない暗闇のわざに加わらず、むしろ、それを明るみに出しなさい」と言っています。悪い仲間に入らないようにすることは比較的簡単にできますが、他人の悪を明らかにして暴露することはものすごく勇気がいることです。しかし、聖書は他人の罪でも知らないふりをすることは罪であると言っているのです。日本人的にはおせっかいと思われることでも、神様が喜ぶことだと考え、また、相手の気持ちにも細かく注意を払いつつ、他人の罪を明るみにするようにしましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.04.27
こんにちは土橋です。神は「156000人のミディアン軍に対して、32000人の兵では多すぎる」とギデオンに言い、300人にまで減らしました。彼らが神様だけをほめたたえるようにするためです。みなさんは成功した時、自分を誇っていませんか。成功までの努力はもちろん尊いものですが、成功したのは100%神様のおかげなのです。失敗は神に出会うチャンスである一方、成功は神から離れる罠でもあるのです。どんな時も神様だけをほめたたえましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.04.20
こんにちは土橋です。皆さんはスマホを一日にどのくらい使用していますか。人によっては一日に10時間以上使っている人もいると思います。スマホは本当に便利で、ナビにも、電話にも、辞書にも、ワープロにも、ステレオにも、テレビにも何にでも利用することができ、これまでの生活様式がスマホの登場によって一変しました。私はどんな技術進歩も背後に神様の思いが隠されていると思います。スマホには「聖霊をスマホのように利用して、あなたの信仰生活を大きく改善してほしい」という神様の願いが込められているように思います。何かあったらすぐにスマホで検索したり、連絡したりしているように、聖霊をスマホのように、もっと頻繁に多方面に活用しましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.04.13
こんにちは土橋です。ギデオンはとても臆病でしたが、ミディアン人と戦うための勇士として選ばれました。神様は完全に自分にゆだねてくれる者として臆病なギデオンを選んだのです。私達は時に自分の能力ではどうしようもない状況に置かれることがあります。「なぜ神様はそんなことをするのか」と考え途方にくれますが、本当は「だから神様はそうされた」のです。できないことを悔やむのではなく、完全に神様にゆだねることができる機会が与えられたと喜んで受け入れるような人になりましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.04.06
こんにちは土橋です。聖書は「愛をもって真実を語れ」と言っていますが、これは頭ではわかってもなかなか実行できない聖句です。なぜなら、私達は間違いを正そうとする時、自分の正しさばかりを主張してしまい、愛が欠如して相手を傷つけてしまうからです。聖書のこの御言葉は教会の中での言動について語っており、これは言い換えると「一人で愛と義の両方を示すのは難しいから、複数の人で分担して愛と義の両方が伝わるようにしなさい」と考えることができます。例えば、子供の間違いを正すときは「父親が義、母親が愛」と役割を分担し、愛と義の両方が伝わるようにしましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.03.30
こんにちは土橋です。イースターおめでとうございます。女性達はイエスの体をきれいにするために墓に出かけて行きましたが、墓が空っぽであるのを見て途方に暮れました。しかし、御使いの言葉を通してイエスの言葉を思い出し、イエスが復活したことを悟り喜び出しました。つまり、彼女達は目に見える状況が何も変わっていないのに、失望から喜びに変わったのです。これが復活の力なのです。私達は信じることにより苦しみが取り除かれ目に見える祝福が与えられることを望みます。しかし、神様が望んでいることは、空っぽの墓の中でイエスを見るように、私達が苦しみや悲しみの中にいるイエスを見つけ、喜ぶことなのです。復活のイエスは私達一人一人のそばにいます。今日もイエスを見つけて、喜んで生きていきましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.03.23
こんにちは土橋です。今日は女さばきつかさのデボラの登場です。無敵を誇っていたシセラの軍は、デボラの預言通り神様の働きにより敗北しました。自慢の鉄の戦車が雨でぬかるんだ土地では重くて動かなくなったからです。つまり、強固であるという鉄の長所が、重いという短所になったのです。私達は自分の実力で人生の戦いに勝とうとして四苦八苦していますが、大切なのは神様が一緒に戦ってくれるかどうかなのです。なぜなら、神様が一緒に戦ってくれたら、自分の短所は長所となり、相手の長所は短所となるからです。自分一人で重荷を負わず、神様と一緒に重荷を負うようにしましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.03.16
こんにちは土橋です。パウロはエペソの人々のことを「愛に根ざし、愛に基礎を置いているあなたがた」と呼びました。これは「彼らは何をする時も、その動機は常に愛であった」ということですあり、最高の褒め言葉です。私達は自分の行動を振り返る時、結果や過程だけを見がちですが、そうではなく大切なのは動機なのです。愛に基づいて行なってさえいれば、結果が芳しくなくても完全な行いなのです。残念ながら私達の中にある愛は不完全です。キリストの愛をいつも受けて、周りの人に与え続けましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.03.09
こんにちは土橋です。士師記3章からさばきつかさが登場します。最初のさばきつかのオテニエルはまずイスラエルをさばき、その後で敵と戦いました。つまり、彼は内部の悪をまず取り除いたのです。これはなかなかできることではありません。多くの場合は目に見える悪だけ取り除き、根本原因である内部の罪はそのままのままで終わるので、同じ悪が繰り返されます。自分で自分の罪に気づくことは困難です。聖霊に頼り、聖霊によって自分の罪を示してもらい、聖霊に従っていくことで自分の中の罪を取り除きましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.03.02
こんにちは土橋です。パウロは「私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです」と言われました。皆さんも自分の性格の中に嫌なところはあると思います。私も自分の優柔不断なところが大嫌いです。しかし、それも神様の作品として造られたものであり、決して失敗作品ではないのです。自分の嫌なところを受け入れて、それを用いて良い行いをするようにしましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.02.24
こんにちは土橋です。イスラエルの民はヨシュアの死後、さらに堕落していきます。神は彼らの堕落をみてイスラエルの民を助けるのをやめますが、これは彼らが主の道を守るかを試すためでもありました。イエスキリストを信じて救われた後も私達は罪を犯し続けます。神様は私達のために罪を犯す性質を取り除かずに、そのままとされたのです。なぜなら、人は罪がなければ神のことをいつのまにか忘れてしまうからです。言い換えれば、日々の罪を告白することに神様との関係を繋ぎ続けて欲しいと神様は願っているのです。罪をも益に変えてくれる神の愛の深さに心から感謝しましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.02.17
こんにちは土橋です。今日の聖書箇所の最後の節の「教会はキリストのからだであり、すべてのものをすべてのもので満たす方が満ちておられるところです」は素晴らしい言葉です。自分の存在がみんなのためになり、みんなの力によって自分が支えられている状態は私達の目指すところです。自分を大切にしつつ、自分にこだわらない生き方をしましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.02.10
こんにちは土橋です。イスラエルはカナン人を完全に追い出すことをせず中途半端に征服を行ったので、偶像礼拝が入り堕落していきました。何事も中途半端はダメなのはわかっていても、完璧に行うことはなかなかできません。なぜなら、完璧に行うためにはものすごい労力が必要となるからです。自分の力で完璧にすることは不可能です。完璧にするためには完璧な方、すなわち神に頼れば良いのです。今日も神様が私達の足らずを補ってくれることを期待しましょう テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.02.03
こんにちは土橋です。「神様に感謝することを数えてください」と言えば、限りなく湧き上がってくる人は多いと思います。しかし、「神様の素晴らしさを賛美してください」と言えば、幾つかは挙げられるのですが、その内にネタがなくなり、感謝と同じような祈りになってしまう人が多いのではないでしょうか。もちろん神が日々与えてくれる数々の恵みに感謝して神様を愛することはものすごく大切なことですが、それ以上に恵みに関係なく神様そのものの凄さ、素晴らしさに感動し、愛することはもっと大

切なことだと思います。なぜなら、そういう関係を超えた愛は普遍であるからです。純粋に神様そのものを愛しましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.01.27
こんにちは土橋です。今日はルツ記の最終章です。ルツとボアズは結婚し、その子孫からダビデが産まれ、そしてイエスにつながっていきました。神の計画の長さに驚かされます。しかし、ルツもボアズもそんな神の計画の一部を担っていることなど少しも知りませんでした。「死んだ人の名を、その身内の者たちの間から、またその町の門から絶えさせないためです」とボアズが言っているように、二人の結婚の理由は家を絶えさせないためでした。つまり、遠い未来のことは少しわからなくても、次の世代にバトンを渡すことだけを必ず守っていれば神の計画は進んでいくのです。自分が生きるのが精一杯で次の世代のことなど考えられないというのが多くの人の本音だと思いますが、それは大きな罪です。次の世代のことをもっと考えて、生きていきましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.01.20
こんにちは土橋です。パウロは「私には、私たちの主イエス・キリストの十字架以外に誇りとするものが、決してあってはなりません」と言いました。これは自分に誇るべきものがあれば、イエスキリストが見えなくなるということです。みなさんも自分に何の取り柄もないと悩むのはやめてください。それはイエスキリストを最も近くに感じることができる素晴らしい取り柄なのです。 テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.01.13
こんにちは土橋です。ルツ記はルツ、ボアズ、ナオミの三人の信仰によって神の計画が進んでいくお話です。一人一人が素晴らしい信仰をもっていましたが、三人の信仰が合わさらないと神の計画は成就しませんでした。私達は個人の信仰にこだわり過ぎです。もちろん、個人的に福音を信じてはじめて救われるのですが、神の計画は個人的なものはほとんどなく、もっと空間的にも時間的にも大きな計画の一部を私達個人が担っているのです。つまり、ジグソーパズルの1ピースである我々が自分だけを見て「私は何のために生きているのか」と考えても仕方がないのです。様々な人と繋がり、自分が神が描こうとしている大きな絵のどこに属しているのかを見つけ出してください。テキストメッセージ　音声メッセージ

2024.01.06
こんにちは土橋です。お正月から日本では能登半島で大規模地震が起こり、大変な被害をもたらしています。一刻も早く被害に遭われた方々が元の生活に戻れるように、また、ご家族を亡くされた方々に主の慰めがあるようにお祈り申し上げます。一人一人の祈りの力は小さくても、それが重なれば大きな祈りになります。少しでも時間を見つけ、また、短い祈りでいいから、被災者の必要が満たされ、平安が与えられるよう、お祈りください。テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.12.31
明けましておめでとうございます。歳をとるにつれ一年が短く感じますが、理由は歳を取るにつれて自分の人生における1年の比率が小さくなるため、体感として時間が早く過ぎると感じるからだそうです。しかし、「たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています（第二コリント4:16）」と聖書に書かれているように、内なる人に注意を払って生きていくと、歳を取っても日々新しくなり充実した人生が送れるのです。内なる人とは神様と関係をを表しています。今年はできるだけ多

くの時間、神様のことを考えるようにしてください。充実した一年になることでしょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.12.23
主の生誕をお祝い申し上げます。メッセージの中でも触れていますが、インマヌエル（主が私たちと主にいてくださる）という思いは、二つのまったく異なる状況で生じます。一つは「誰も自分のことをわかってくれる人がいない」時です。誰にも相談することができない時、また、誰に相談してもわかってくれない時、神様が寄り添ってくれるのです。もう一つは、誰に会ってもその人の背後にインマヌエルを感じる時です。「あの人が私にあんな優しい言葉をかけてくれたのは、神様がそばにいてくれたからだ」と感じるのです。私は今年この二つのインマヌエルを何度も経験しました。神様はいつでもどこにでも居てくれ、導いてくれる存在です。インマヌエルを大切にしてください。 テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.12.16
今日は土橋です。今回のバイブルスタディは666回です。666は聖書ではあまり良い数字ではありません。なぜなら、ヨハネの黙示録にも666は悪魔の象徴として記述されているからです。しかし、そんなこと気にする必要はありません。私達にはイエスキリストが一緒にくびきを負ってくれているからです。自由とは誰にも縛られないで生きることではありません。イエスと一つになり、どんな状態でも平安でいることができる状態が自由です。誰でもなんかモヤモヤして、いたたまれなくなる時があると思います。私もよくあります。そんな時、イエスがあなたと同じ気持ちになってそばにいてくれていることに気づくと、「あー、信仰をもってよかった」となんとも言えない平安が湧き上がってくるのです。真の自由を味わいましょう。 テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.12.09
こんにちは土橋です。今週から旧約聖書はルツ記をします。ナオミは二人の嫁に対して実家のモアブに帰るように忠告します。これに対してオルパは忠告通りモアブに帰りますが、ルツは義母であるナオミとずっと一緒にベツレヘムにいたいと言います。私達もルツと同じように日本人であるのにイエスキリストから離れないでいるのです。なぜなら、イエスキリストが唯一の神であることを知ったからです。決して日本の神と比べてキリストの神の方が良いと思ったのではありません。イエスキリストが唯一の神であるとわかったので、他の選択肢はなかったのです。どんな苦難にあってもイエスキリストを選びましょう。テキストメッセージ　　音声メッセージ

2023.12.02
こんにちは土橋です。今日のテーマも「信仰のみによる救い」です。つまり、救われるためには良い行いが不要であるということです。しかし、ヤコブの手紙にも書かれているように、良い行いをまったくしない人が救われているとは言えません。これは矛盾しているのではなく、どちらも同じことを言っているのです。つまり、大切なのは「信仰→救い→善行」の順番であり、これが「信仰→善行→救い」となってはいけないのです。このように人生には順番が大切であり、日々の生活の中でも順番の大切さを経験します。例えば、たくさんの仕事を抱えて困っている場合、仕事の優先順位を決めて行うことによって、驚くほど効率があがることを経験します。また、人前でのスピーチに悩んでいる人は、話す順番を変えるだけで素晴らしいスピーチになったとよく聞きます。みなさんも順番を意識して生活してみてください。同じことを順番を変えるだけでまったく違った結果になるのが気づくことでしょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.11.25
今日は土橋です。今日のテーマは「忠実に仕える」です。出エジプト記35ー40章には19回も「主が命じられたとおり」という言葉が使われています。神様は私達が自由に生きるのではなく、自主的に生きて欲しいと願っています。それは主が命じられたとおりに忠実に仕えることを意味します。「いつも喜び、絶えず祈り、すべてのことに感謝する」ことなど無理と諦めるのではなく、できなくても忠実に従おうとしてください。神様が色んなことをあなたに言おうとしていることが少しずつわかってくるでしょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.11.18
こんにちは土橋です。今日のテーマは「昔に逆戻り」です。信仰をもっている我々が信仰をもつ前に戻りたいと考えることはないと思いますが、いつの間にか昔の習慣に戻っている場合があります。一番多い昔への逆戻りは「良い結果には良い原因、悪い結果には悪い原因がある」と考えることです。私達は信仰をもったのは、この因果応報の呪縛から解放されるためだったのに、いつの間にか「〇〇しなかったので悪いことが続いたんだ」などと昔に逆戻りするのです。プライドと因果応報の罪は私達の心の深いところに住み着いており、少しでも気を許せば逆戻りして表に出てきます。聖霊の力により頼み、このしつこい罪が表に出てこないように気を付けてください。テキストメッセージ_音声メッセージ

2023.11.11　テキストメッセージ

2023.11.04　テキストメッセージ

2023.10.28　テキストメッセージ

2023.10.21　テキストメッセージ

2023.10.14　テキストメッセージ

2023.10.07　テキストメッセージ

2023.09.30　テキストメッセージ

2023.09.23
こんにちは土橋です。神様は将来の起こることを考えて、今私達に様々な経験をさせますが、将来起こることがわからない私達は、「なぜこんなことが私に起きるのだろう」と悩んだり、時には落ち込んだりします。神様は私達に将来起こることを見通す力を信仰によって養って欲しいと考えている訳ではありません。「何のためにしているかわからないが、神様がしてくれたことだから良いことに違いない」と神にゆだねて信じることを望んでいます。今週もよろしくお願いします。　テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.09.16
こんにちは土橋です。パウロの語った福音はイエスキリストの啓示によるものでした。「パウロのように神様からの啓示がはっきりとあれば人生に悩まずに済むのに」と思っているクリスチャンは多いと思います。パウロと同じような啓示が今でも起こる訳ではないと思いますが、キリストによって与えら

れる啓示が信仰に間違いなく確信をもたらしてくれます。日常生活のほんの些細な変化の中に神の啓示が隠れています。見逃さないように神に心を向け続けましょう。テキストメッセージ

2023.09.09
こんにちは土橋です。今日も引き続き幕屋について説明していきます。前回（2週間前）にも言いましたが、幕屋について神が命じたことは私達がどのように神様と接したら良いかについて、たくさんのことを教えてくれます。毎日聖書を読む時、「今日は何を教えてくれるのだろうか」とワクワクしながら読んでください。必ず何か今まで知らなかったことが与えられるでしょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.09.02
こんにちは土橋です。今日から新約聖書はガラテヤの手紙からメッセージをします。今日のテーマは「福音を変えてはいけない」です。福音を信じるだけで永遠の命が与えられることを日本人に受け入れてもらうのは本当に難しいことです。それで福音を受け入れやすくするために、福音を変えてしまうのです。聖書では割礼も救いの条件にしたユダヤ主義者の例が書かれていますが、無意識に福音を変えるのは現在でも頻繁に起こっています。本文中でも少し触れていますが、一番多いのは聖書の話しを道徳的な教訓に変えてしまうことです。聖書の話しはすべてキリストの十字架につながっており、例えば「ペテロのように何事も勇気をもって一歩踏み出しましょう」というような結論にすると、多くの人に受け入れやすくなりますが福音を変えたことになるのです。「そのような者はのろわれよ」とパウロが言っているのは私達への警告であることを忘れず、御心をそのまま伝えていきましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.08.26
こんにちは土橋です。今日は祭司の装束について話します。一見すると儀式のように思いますが、実際はそうではなく、たった一つの罪も見逃すことができない聖なる神に近づくには本当に細心の注意が必要だったのです。私達はイエスの十字架の贖いにより全ての罪が赦されていますが、それがどんなにありがたいことか本当にわかります。どんなに頑張っても自分の努力で罪なく生きることは不可能です。諦めずに福音を伝え続けましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.08.19
こんにちは土橋です。今日は第二コリントの手紙の最後の回です。パウロはコリントの信徒に「自分自身を試し、吟味しなさい」と言いました。吟味の方法は色々とあると思いますが、結局吟味とは「神様を誰よりも愛している」かどうかをチェックすることだと思います。神を愛することは簡単なようで難しいことです。なぜなら、直接見ることができないからです。でも、聖書を通して、祈りを通して、自然界を通して、人間関係を通して、様々な方法を通して神様が私達一人ひとりを心から愛しておられるのを感じることができます。どうか毎日「今日はどんな方法で神様は私に愛をあらわしてくれるのだろうか」とワクワクしながら過ごしてください。それが心から神を愛する第一歩です。テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.08.12
こんにちは土橋です。今日は幕屋の二回目ですが、幕屋の材質、色、サイズ等々すべてに神様の思いが込められています。幕屋だけでなく、神様がなさるすべてのことに、神様の思いが込められています。些細なことでも何かいつもと違ったことが起きたとき、必ず神様の思いに心を向けるようにして

ください。喜び、平安、悔い改めの思い、等々何かの思いが神様から与えられます。 テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.08.05
こんにちは土橋です。今日の箇所の中の『私が弱いときにこそ、私は強いからです」は本当に素晴らしい言葉です。皆さんも様々な弱さを抱えて生きていると思いますが、その弱さがあるからこそ神様を求め続けることができるのです。「みんなと同じようになりたいな」と思わず、今もっている弱さに感謝しましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.07.29
こんにちは土橋です。今日から幕屋について何度かお話しします。幕屋とは神がイスラエルの民の中に住んでいるところです。信じる私達の内にも神である聖霊が住んでいるので、私達の体は幕屋と同じと言えます。幕屋は「わたしがあなたに示す型と全く同じように造らなければならない」と書かれているように神の示す通りに造られてましたが、私達の体は神の計画通りに維持されていません。聖霊は多分「この部屋はゴミ（罪）だらけで本当に住みにくい」と嘆いていることでしょう。聖霊から「この部屋は本当にきれいで快適や」と言ってもらえるように、ゴミ（罪）をいつも取り除きましょう。テキストメッセージ音声メッセージ

2023.07.22
こんにちは土橋です。「神のみぞ知る」とは巷では「誰にもわからない」というネガティブな意味に使われますが、クリスチャンにとっては「神だけがわかっていてくれる」というポジティブな意味に変わります。神様が私達一人一人に与えているものは、どんなに祈っても変わらないことがほとんどです。しかし、見方を変えればほとんどすべてのことが変わってきます。無いことを嘆くのではなく、まだあることを感謝しましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.07.15
こんにちは土橋です。今日はシナイ契約の締結の話ですが、アメリカで生活していたら頻繁に契約させられます。ちょっとしたイベントがあると必ず参加する前にサインさせられます。契約の内容は様々ですが、結局は「何が起こっても自己責任で対処してください」ということを約束しているのです。神様も同じです。私達が自分で責任をもって生きるために自由意志が与えられているのです。だから、信仰は自分の努力で得られるものではなく神の一方的な恵みによるものですが、必ず人間側での応答が必要です。神にすべてをゆだねながら自己責任をまっとうしましょう。 テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.07.08
こんにちは土橋です。私は小さい頃からずっと、なんでも良いから人よりも優れたものを身につけたいと考えていました。しかし、結局は自分には他人に誇るべきものなんか何もないことに、大人になって気づきました。でも、自分には何も誇るものがないことに気づいたので、イエスを信じることができたのです。神様は私達一人一人を特別な存在として造っています。しかし、能力や賜物は自分を誇るために与えられているのではなく、神様を誇るために与えられているのです。神様だけを求め、神様だけを誇りましょう。テキストメッセージ

2023.07.01

こんにちは土橋です。今日はモーセの契約（諸々の規定）です。神は偶像礼拝がものすごく嫌いです。イスラエルの民がカナンの神々を拝むことがないように、カナン人がイスラエルの領土に住むことだけでなく、カナン人の習慣（ヤギの乳で子ヤギの肉を煮る）まで禁じました。そこまでしなくても思いますが、それほどしないと他の神々を崇めてしまう程人間は弱いのです。イエスキリストを信じる私達には聖霊が一緒にいてくれるので、そこまで厳しい対応をしなくても良いのですが、それでも神の愛と義が混じってしまい、「あの人は仏教徒だけど思いやりのある人だから、イエスキリストを信じなくても天国に行けるように神様がはからってくれる」というような間違った思いをもってしまう人がいます。イエスのように敵をも愛する一方、霊的なことは「イエス以外に道なし」と排他的であり続けましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.06.24
こんにちは土橋です。誰しも自分の人生が思い通りいかないことを悩み、その解決を図るために聖書を読んだり祈ったりしていると思います。しかし、これはあまり良い生き方ではありません。なぜなら、「得ようとする生き方」だからです。神様が望むのは「与えようとする生き方」です。いつも誰かに与えようとしている人は、悩みから解放されて活き活きと生きています。そして、不思議なことに得ようとしている人よりも、より多くのものを得ています。喜んで与える人になってください。テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.06.17
こんにちは土橋です。今日はシナイ契約の詳細規定についてお話します。その中の一つに、「目には目、歯には歯」と同程度の復讐を認める規定（同態報復法）が書かれています。これは有名なので皆さんもご存知だと思います。「やられたら倍返し」と言うドラマが流行りましたが、倍返しをするとお互いの憎しみがスパイラルアップし、収集がつかなくなります。だから、同程度の復讐を認めて憎しみを消そうとしているのです。これが愛と義のバランスです。しかし、クリスチャンは「右の頬を叩かれると、左の頬を出す」のが原則です。なぜなら、イエスの十字架によって既に復讐は終わっているので、私達はゆるして愛するだけでいいからです。日々の生活でイライラすることや、憎しみが込み上げてくることが多いと思います。そんな時にはイエスの贖いを思い出してください。すべての憎しみが消えていくでしょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.06.10
こんにちは土橋です。「情けは人のためならず」という諺があります。「人に情けを掛けておくと，巡り巡って結局は自分のためになる」が本来の意味ですが、若者の多くは「人に情けを掛けて助けてやることは，結局はその人のためにならない」と考えているようです。しかし、キリスト者が考えるのは自分のためや、人のためではなく、神のためになるかです。神の栄光のために喜んで奉仕をしましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.06.03
こんにちは土橋です。AIの登場で「今後クリエイティブな仕事以外はなくなるだろう」と言われています。説教も同じで、聖書を詳しく解説するだけの説教では生き残っていけなくなるでしょう。「聖霊が必ず私にしかできない何か新しい考えをメッセージに吹き込んでくれる」と信じて、取り組んでいくしかありません。今後ともよろしくお願い申し上げます。テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.05.27

こんにちは、土橋です。「大人になっても間違いを指摘してくれる人は本当に良い友達ですか」という質問をすると、賛否両論に分かれます。賛成する人は「大人になってからも成長できる機会を与えてくれたのだから、良い友達だ」と言い、反対する人は「いくら正しい指摘でも相手が落ち込むことを知っていて言っているのだから、良い友達と言えない」と主張します。御心にそった悲しみとはそのどちらでもなく、指摘されたこと自体が神様からの恵みだと考えることです。自分が間違っていたことに気づくことは確かに悲しいことですが、悔い改めることにより神の栄光を示すことができる喜びも同時にわいてくるのです。テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.05.20
こんにちは土橋です。今日は十戒の二回目で、人間関係の戒めの一回目です。どれも大切な戒めですが、最も大切だと思われるのが、「父と母を敬え」です。本当にすべての要となる戒めであり、この戒めをしっかり守っていれば、神様との関係も人間との関係も必ずうまくいきます。逆に父母との関係に何か悪いものが残っていれば、どんなに隣人を愛して良い人を演じていてもうまくいきません。既に亡くなっていても遅くはありません。心から父と母を敬い、罪の根を取り去りましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.05.13
こんにちは土橋です。今週は母の日でした。当たり前のことですが、母がいなかったら私は存在していないし、母が世話してくれなかったら私は生きていけなかったでしょう。でも、母はまだ救われていません。みなさんにも、大変お世話になった方や、心から尊敬する方で、まだイエスキリストを信じていない方はたくさんいると思います。「今が恵みの時、今は救いの日」です。パウロのような情熱をもって諦めずに伝道しましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.05.06
こんにちは、土橋です。今回と次回（2週間後）は、モーセの十戒について考えます。今日は神様との関係についての戒め（1―4）について考えますが、この箇所で面白いのは「私はねたむ神」と書かれていることです。全能の神様は決して他のものを羨みません。神様のものである我々人間が、他の神を崇めたり、富に心を奪われたりして、唯一の神に心を向けないことにより、神はねたんでいるのです。信仰とは「私は神の所有物」と考えることとも言えます。みなさんも自分の心に問いかけてください。素直に神の所有物であることを受け入れることができず、「私は誰の所有物でもない。自由に生きていくの」と思っているのなら、その人は神を信じているのではなく、神を理解しているだけなのです。テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.05.29

2023.04.22
こんにちは土橋です。今日のテーマは「新しくなる」です。私達は生活環境を変えて新しくなろうとしますが、結局は何も新しくなりません。また、ポジティブに物事を考えたりして性格を変えようとしますが、結局は何も変わりません。変えるのは環境でも性格でもなく、方向です。自分のためから、神様のために歩く方向を変えれば、必ず新しくなります。音声メッセージ　テキストメッセージ

2023.04.15
こんにちは土橋です。神はイスラエルの民に近づこうとしますが、民の罪のために神との間に境界を設けざるを得ず、結局は近づくことはできませんでした。一方、民は「主の言われたことにはすべて

従います」と自信満々に言い、自分達が罪をたくさん犯していることには気づいていませんでした。これは現在のこの世の状況をあらわしています。私達の多くはイスラエルの民にと同じで、自分達が罪の中を歩いていることに少しも気づいていません。どうかこの章の状況を頭の片隅においてください。神様は人々に寄り添いたくても、寄り添えないのです。私達の日々犯している罪のために。音声メッセージ　テキストメッセージ

2023.04.08
こんにちは土橋です。イースターおめでとうございます。毎年、イースターになるとイエスの十字架の贖いの素晴らしさを考え直します。しかし、あまりピンと来ない人も結構います。なぜなら、人間の罪深さを理解していないからです。罪を見つめることは楽しいことではありませんが、自分の罪深さをはっきりと認めない限り、イエスを信じることも、イエスを愛することもできません。罪を見つめ直し、イースターを心からお祝いしましょう。音声メッセージ　テキストメッセージ

2023.04.01
こんにちは土橋です。落胆することは誰しもあります。なぜなら、人生は自分の思っているようにはまったく進まないからです。神様は私達に自由意思を与えてくれていますが、同時に私達の人生も支配して導いてくれています。今自分に起こっていることを落胆するのではなく、何が起こっても神様が与えてくれたものと自分の意思で受け入れることにより、落胆しないようになります。見えるものではなく見えないものを見続けましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.03.25
こんにちは土橋です。今日はモーセの義父のイテロがモーセに助言をするところです。「指導がないことによって民は倒れ、多くの助言者によって救いを得る（箴言11章14節）」と書かれているように、どんな世界においても助言者は必ず必要です。イザヤが「不思議な助言者（イザヤ9:6）」とイエスのことを預言しているように、信仰生活で最も頼りになる助言者はイエスです。しかし、イエスのことを救い主、平和の君、インマニュアルと考える人は多いのですが、助言者と考えている人は案外少ないように思います。もっとイエスに助言を求めてください。必ず良い助言が得られるでしょう。音声メッセージ　テキストメッセージ

2023.03.18
こんにちは土橋です。今日の聖書箇所の最後の節3章18節の「私たちはみな、覆いを取り除かれた顔に、鏡のように主の栄光を映しつつ、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられていきます」はとても大切な聖句です。私達の人生は自分で何かを作り出すのではなく、神から受けたものを反射させて周りの人々に与えていくことがすべてです。反射には「入射角と反射角は必ず等しくなる」という原則があります。斜めから受けた光は斜めに反射させるしかありません。真正面から光を受け、真正面に反射させていきましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.03.11
こんにちは土橋です。今日はモーセが岩を杖で叩いて水が出るところです。神は一度目は「岩を叩け」と言いますが、二度目は「岩に語れ」と言いました。モーセは二度目も岩を叩いてしまったので、罪となりカナンの地に入れませんでした。同じ状況でも神様は違った命令を出す時があります。私達が勝手にこれが神様の思いだと断定することはよくありません。「神の声を確実に聞いて従う」という習慣をつけましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.03.04
こんにちは土橋です。今日のテーマは「キリストの香り」です。キリストの香りはそこに存在するだけで、平安や喜びを与えてくれます。そう考えると、「反キリストの香り」とは存在するだけで満足できず、周りに認められようとあくせく行動し続けている状態であるように思います。つまり、一生懸命働いた結果、「あなたは汗臭いから嫌い。近くに寄らないで」と神様に言われるのです。神様に気に入られるように、芳しい香りを放つように日々生きていきましょう。 テキストメッセージ　音声メッセージ

2023.02.25
こんにちは土橋です。今日は神がイスラエルの民にマナを与えるところからお話をします。イスラエルの民は食べ物がないと不平を言ったにもかかわらず、神は毎日マナを与えました。私達は「神様は甘やかし過ぎやろ。ちゃんと働いた時にマナを与えれば良いのに」と思ってしまいますが、大間違いです。受ける価値のない者に与えてくれるから恵みであり、私達もイスラエルに民と同じなのです。日々の神様の恵みに感謝し、心から神様に従っていきましょう。音声メッセージ　テキストメッセージ

2023.02.18
こんにちは土橋です。今日のテーマは罪に対する罰と赦しです。「クリスチャンはすべての罪が赦されているので関係ない」と言う人がいますが、そんな簡単な問題ではありません。問題が深すぎて簡単には議論できませんが、結局大切なのは「私は神の恵みによって救われた」ということに尽きると思います。「恵みによる救い」を強調すると何度でも罪を犯し続けるようになり堕落すると言う人もいますが、そんなことはありません。それは恵みをきちんと理解されていないからであり、恵みは罪の抑止力になりますし、また赦しに対する愛の源にもなります。今も与えられ続けている恵みに目をとめましょう。すべての問題解決の入り口は恵みにあります。 音声メッセージ　テキストメッセージ

2023.02.11
こんにちは土橋です。どんな物事もメリットがデメリットより大きいと判断した時、我々は実行します。しかし、実際にやってみてはじめてメリットがわかる物事も結構あります。例えば、毎日ジョッギングすることなんか、やっていない人から見れば、「疲れるし、時間も取られるし、寒いし良いことなんか何もない」とデメリットばかり考えます。しかし、実際にやっている人は「健康になるし、食事も美味しいし、ぐっすり眠れる」とメリットの多さに気づいてやめられなくなります。信仰も同じです。信じていない人から見ると、「毎日祈ったり、聖書を読んだり、礼拝にも出席したり、めんどくさいことばかり」と思うかもしれませんが、信仰のある者にとっては「祈るだけで、平安が得られ、祝福が得られ、神様からの啓示も与えられるので、やめられない」と思っているのです。まだ信じていない人は信じてみてください。メリットの多さにびっくりするでしょう。音声メッセージ　テキストメッセージ

2023.02.04
こんにちは土橋です。パウロは周りの人から様々な非難を受け続けていました。しかし、そういう非難を乗り越えるために、深い神学理解を身につけ、細やかな心遣いを身につけることができました。まさに「すべてのことがともに働いて益になる（ローマ８章２８節）」の御言葉を体現した人でした。しかし、そうなったのは、益になる前から「苦しみや試練も神様からの恵みだ」と受け入れていたからです。「苦しみを取り除いてください」とばかり祈るのではなく、「苦しみを恵みと信じることができる信仰を与えてください」と祈ることも忘れないようにしましょう。音声メッセージ　テキストメッセージ

2023.01.28

こんにちは土橋です。今日は聖書ではじめて歌が登場するところです。歌って賛美することは信仰生活でとても大切なことです。なぜなら、神様にささげることができるからです。「歌が下手くそなので賛美は嫌い」という方もおられるかもしれませんが、賛美は上手下手は関係ありません。神の御名を讃えようと思う気持ちが大切なのです。ミリアムのように幾つになっても心から神に賛美をささげるようにしてください。神様は間違いなく喜んで聞いてくださいます。 音声メッセージ テキストメッセージ

2023.01.21
こんにちは土橋です。今週のメッセージのテーマは慰めです。みなさんも人からを慰めを受けたことがあると思いますが、あまり嬉しいと思ったことはないと思います。まったく同じ境遇を経験した人の慰めでなかったら、「どうせあなたには私の気持ちはわからない」という思いが心の中に湧いてしまうからです。人を慰める時は、神様から受けた慰めをそのまま渡すようにすることが唯一の方法です。変に寄り添って励ましてあげたいという思いは持たず、受けたものをそのまま与えるようにしましょう。テキストメッセージ 音声メッセージ

2023.01.14
こんにちは土橋です。私達は頭の中では「聖書に書いていることは実際に起こったんだ」と考えていますが、自分では気づいていないが心の奥底では「かなり誇張して描かれているだけで、実際には起こっていない」と考えている場合が多いのです。今日の「海がわかれる」という出来事もそういう話の一つです。しかし、水中から昔の戦車の車輪が見つかったりしていることから考えると、実際に起こった歴史的事実なのです。今まで見たこともない超自然現象も疑うことなく素直に受け入れることができる信仰をもちましょう。テキストメッセージ 音声メッセージ

2023.01.07
こんにちは土橋です。今日は新約聖書に戻って、ルカの福音書5章の「ペテロが弟子になる」というところからメッセージを配信します。彼らがすべてを捨てて弟子になったのは、彼らの意思だけで行ったのではなく、タイトルにもあるように神の選びによるものです。一生懸命人間の力で努力しても神様が選んでくれる訳ではありません。神に選んでもらうには「神様しかいない」と信じることだけです。今日も「神様しかない」という思いをもって進んでいきましょう。音声メッセージ テキストメッセージ

2022.12.31
こんにちは土橋です。あけましておめでとうございます。今年は2023年ですが、2023を素因数分解しますと「7X17X17」となります。17は聖書では「完全な勝利」を意味すると言われています。なぜなら、「ノアの生涯の六百年目の第二の月の十七日、その日に、大いなる淵の源がことごとく裂け、天の水門が開かれた（創世記7章11節）」と書かれており、また「箱舟は、第七の月の十七日にアララテの山地にとどまった（創世記8章4節）」と書かれているからです。ここ数年、もやもやした年が続いていますが、今年は神の完全な勝利を宣言することのできる素晴らしい年になりそうな気がします。本年もよろしくお願い申し上げます。音声メッセージ　テキストメッセージ

2022.12.24
こんにちは土橋です。本文中にもありますが、イザヤ書58章11節に「主は絶えずあなたを導いて」と書かれているように、神様は絶えず私達を導いています。だから、「絶えず祈る（第1テサロニケ5章17節）」ことが私たちには必要なのです。「絶えず祈る」とは呼吸するように無意識に行う祈りです。絶えず祈って、絶えず神の導きにゆだねていきましょう。 音声メッセージ　テキストメッセージ

2022.12.17
こんにちは土橋です。今日はイスラエルの民がエジプトを脱出するところですが、「主はエジプトの地のすべての長子を、王座に着いているファラオの長子から、地下牢にいる捕虜の長子に至るまで、また家畜の初子までもみな打たれた」と書かれているように、神はエジプト人をまったく容赦しなかったのです。私達は心のどこかに「神様は愛なる方だから、福音を信じていない者にも何かの形で手を差し伸ばしてくれるのではないか」と考えていますが、決してそんなことは起こりません。「罪を悔い改めて、福音を信じて、罪が許される」以外に救いの道はないのです。テキストメッセージ　音声メッセージ

2022.12.10
こんにちは土橋です。今日はクリスマスメッセージです。私は羊飼いの聖書の箇所（ルカ2章8-20節）を読むといつも、羊飼いの生き方に励まされます。なぜなら、羊飼いは欲も失望も卑屈なところもなく、すべてを受け入れて自然体で生きているからです。あなたを苦しめているのはあなた自身です。羊飼いのようにすべてから解放されて、イエスキリストの誕生を祝いましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2022.12.03
こんにちは土橋です。パン種は罪や悪を示しています。少しでもパン種が入っていると、膨らんでくるように、少しでも罪が私達の中にあると膨らんで大きくなります。しかし、ローマの手紙7章でパウロが告白しているように、罪の種は信じた後も私達の中に残っているので、イエスのような罪を犯さない生活をすることは不可能です。私達がすべきなのは、罪をが膨らまないように日々チェックすることです。日々の罪のチェックは、日々の歯磨きのようなものです。食べ物のカスは歯と歯の間に残っているように、罪も人と人の間、つまり人間関係に残っていることがおおいのです。とにかく毎日、歯も心もキレイにしていきましょう。テキストメッセージ　音声メッセージ

2022.11.26
こんにちは、土橋です。今日は過越の祭りについてお話ししますが、過越はイエスの十字架による贖いの型といえます。「門柱に血を塗っている家庭だけが救われる」というのは、神様の性質を表しています。神様は愛なるお方ですが、約束は必ず守る方であり、決して大目に見ることはありません。この過越でもせっかく小羊を殺しても、門柱に血を塗るのを忘れた家庭は救われませんでした。だから、「神様は私達すべてを愛しているので、なんかの形で救いに到る道を与えてくれる」と考えないでください。生きている間にイエスキリストの血による贖いを信じない限り、決して救われないのです。
テキストメッセージ　音声メッセージ

2022年　ここをクリックして、さらにファイルをクリックしてください

2021.12.25　テキストメッセージ

2021.12.18　テキストメッセージ

2021.12.11　テキストメッセージ

2021.12.04　テキストメッセージ

2021.11.27 テキストメッセージ

2021.11.20 テキストメッセージ

2021.11.13 テキストメッセージ

2021.11.06 テキストメッセージ

2021.10.30 テキストメッセージ

2021.10.23 テキストメッセージ

2021.10.16
こんにちは土橋です。今日は伝道者の書の最終回です。ソロモンは人生の目的を考え続け「空なる空」と言いましたが、最後は「神を恐れよ。神の命令を守れ」と神に立ち返りました。誰しも「何のために生きているのか」と考えることはあると思います。ある学者は「そんなことを考えるのは時間の浪費である」と言いましたが、私もそう思います。そんなことを考えているのなら、祈って、伝道して、聖書を読んで、たまに美味しいものを食べていればいいのです。シンプルに神に従っていきましょう。テキストメッセージ

2021.10.08
こんにちは土橋です。今日は「若き日に主を覚えよ」というところです。私は若き日ではない30歳でイエスに出会いましたので、この聖句を読むといつも、「もっと早くイエスに出会って良ければよかったのに」と後悔していました。しかし、最近は「いつも今が若き日であると思うようにすれば良い」と考えるようになりました。聖書は読む私たちの態度によって考え方が変わってきます。主に前向きに従おうと考えて聖書を読みましょう。テキストメッセージ

2021.09.25
こんにちは土橋です。主の御名を賛美します。今日は神は主であり、仕えることが大切であるという話です。仕えるというのは英語でserveと言いますが、仕えるためには、まず主を観察する（observe）することが必要です。仕えることによって私たちの生活は保たれ（preserve）、価値のある（deserve）のある者となります。神を主として崇め、仕え続けましょう。 礼拝動画　テキスト

2021.09.18
こんにちは土橋です。主の御名を賛美します。ソロモンは「人生はむなしい」ばかり繰り返していますが、皆さんは人生はむなしいと思いますか。イエス様に出会っていなかったら、私も多分ソロモンのような虚無に陥っていると思います。しかし、私はソロモンと違ってイエスに出会っているので、希望がなくなることはありません。本当にイエスに出会えてよかったです。今週もよろしくお願いします。
礼拝動画　テキスト

2021.09.11
こんにちは土橋です。9月に入り朝夕が涼しくなってきました。今日の箇所で「死ぬ日は生まれる日にまさる」とあります。人間的に考える人は、生まれた時は何でもできる可能性があるが、

歳を取るにつれて徐々に可能性が少なくなってきて失望が大きくなるので、生まれる日の方が良いと考えます。しかし、可能性が少なくなるということは、神様中心に考えると与えられた使命がより明確にわかってくるので、素晴らしいことになります。今、苦しみの真っ只中にいるのは人間的に考えていることが原因なのかもしれません。神様の目から考えると、同じ状況がとても良いことになるかもしれません。今週もよろしくお願いします。礼拝動画　テキスト

2021.09.04
こんにちは土橋です。今日はお金にこだわる生き方はむなしいという話です。「お金があれば、美味しいものも食べ、旅行もいつでも行けて良いのに」と誰しも思うものです。しかし、今までの人生で嬉しかった瞬間を思い出してください。何かの富や財産を得たことよりも、神様が特別に働いて祝福してくれたことの方が嬉しかったのではないでしょうか。だから、人間にとっての満足というのは、「この世にいながら神様との深い交わりを味わう」こと以外にはないと思います。日々、神との交わりを求めて生きてください。きっと満足できる人生を過ごすことができるでしょう。礼拝動画　テキスト

2021.08.27
こんにちは土橋です。今、ピッツバーグは雨の季節で一日中雨が降っている日もあります。誰しもそうですが、雨の日が続くと気分が沈んできます。しかし、「この雨のおかげで美味しい果物を食べ、綺麗な花を見ることができるのだ」と思えば気分が明るくなってきます。伝道者の書でソロモンが書いている人生のむなしさは雨の日の過ごし方のようなものです。結局は将来の確固たる希望がなければ虚しいだけです。私たちはイエスキリストと一緒にパラダイスにいるという確固たる確信があります。だから、人生はむなしくならないのです。今週もよろしくお願いします。 テキスト

2021.08.21
こんにちは、土橋です。８月ももうすぐ終わろうとしてます。コロナも本当に長く続いていますね。ある人は「コロナは戦争だから４年ぐらいは続くだろう」と言っています。でも、コロナがどんなに続いても神様の臨在がなくなる訳ではありません。むしろ、こんな苦しみの中にこそ神様が見えて来ます。すべてを主にゆだねて生きていきましょう。動画　テキスト

2021.08.13
こんにちは、土橋です。主の御名を賛美します。伝道の書は知恵の賜物があるソロモンが書いただけに、非常に哲学的です。私は毎週のように神様との交わりの大切さを言っていますが、ソロモンはさらに一歩進んで、「人間にははっきりと神の思いがわからないのに、この世で満足するのは不可能だ」と言います。確かにそうですが、それで納得してはいけません。神様の思いがはっきりしないのなら、自分の思いをはっきりさせればいいのです。「何があっても完全に神様に従おうとする」という思いさえ持っていれば、完全に従っていることになるのです。今週もよろしくお願いします。動画　テキスト

2021.08.06
こんにちは、土橋です。今日のテーマは「神の時」です。「同じように努力しているのに、あの人にはなぜ良いことばかり起こるのだろう」と思うことがあると思います。それはその方が「神の時」に従って歩んでいるからです。自分で扉を開けようとしてもいつまでたっても開けることはできませんが、神の時に従って歩むと簡単に開きます。日々、神の時を探していきましょう。テキスト　動画

2021.07.31

こんにちは、土橋です。今日から旧約聖書の「伝道者の書」です。最初の「空の空」という言葉は印象的です。「空」とは「むなしい」とも「そら」とも読めますが、「から」とも読めます。「空っぽの墓」というのはイエスが復活した証であり、そこから信仰が始まります。私たちの人生も意義あるものにするために様々なものを詰め込もうとすると、結局はむなしい人生になります。しかし、逆に空っぽにして生きていると、神様が満たしてくれます。からっぽの人生を送りましょう。 テキスト 動画

2021.07.17
こんにちは、土橋です。今日はパウロの短い書簡であるピレモンの手紙からのメッセージです。短い書簡ですが神様の思いが凝縮されています。どうぞお楽しみください。 テキスト 礼拝の様子（動画）

2021.07.03
こんにちは、土橋です。最近、時間があるとすぐにYoutubeを見ていることに気づきます。確かに面白いだけでなく、ためになる情報もあり、一日中見続けていても飽きません。しかし、大切な時間を浪費していることには変わりありません。なぜなら、明日死ぬことがわかっている時には絶対にそんなものは見ないと思うからです。パウロの姿を見るときに、いつもこの世での死を意識していたのがわかります。そして、その死の意識がすごいエネルギーを生み出していたように思います。今日死んでも満足できるように、日々を過ごしましょう。 テキスト

2021.06.26
こんにちは、土橋です。今日のメッセージでもテーマになっていますが、人間がこの世で生きるためには「生きる意欲」が必要です。お金があっても生きる意欲がなければ生きていくことはできません。みなさんの生きる意欲となるものは何ですか。お子様のいる人はお子様の成長が生きる意欲となっていると思いますし、お仕事をしている方は仕事で成果をあげることが生きる意欲となっていると思います。生きる意欲になるためには目に見える結果が必要です。しかし、結果が見えるようになるまでには非常に長い時間がかかる場合があり、生きている間に結果を見ることができない場合もあります。結果が見えるまでの意欲になってくれるのは使命感です。「神様が私に◯◯を託してくれている」という使命の確信が生きる意欲になります。実は今私は使命感が弱くなっています。「私がいる必要があるのか」とか「私でない方が良い結果が出るのでは」と日々思っています。「日々生かされているのだから私にしかできない何かの使命があるのだろう」と楽観的に考えるようにしていますが、ガス欠状態であることは否めません。人生とは航海です。嵐の中でも難破しないように使命を持ち続けましょう。 テキスト

2021.06.19
こんにちは土橋です。今日のメッセージはパウロが言った「私のようになってください」という言葉に焦点を合わせています。私は子供が二人いますが、二人とも性格は妻の方に似ていて私にはまったく似ていません。私のようにならなくて本当に良かったと思います。だから、パウロのように「私のようになってください」と言える人は素晴らしいと心から尊敬します。あと何年人生が残っているかわかりませんが、誰かに「私のよういなってください」と言えるようにしたいと思います。今週もよろしくお願いします。
テキスト

2021.06.12

こんにちは、土橋です。今日のテーマは「見えざる神の働き」です。私はよく余計なことを言って失敗します。大抵は聖霊の思いを無視して自分の思いを話してしまって失敗するのですが、たまに明らかな失敗であっても心は平安である場合があります。それは見えざる神の働きによって行動した時です。そうなると次に何が起こるかを期待してしまいます。そして、あまり個人的には良くないことが起こっても、御心であるので喜んで受け入れることができるようになります。聖霊の働きに敏感になることが本当に大切ですね。今週もよろしくお願いします。テキスト

2021.06.05
こんにちは土橋です。今日のメッセージの箇所は総督フェリックスが登場します。決断できない優柔不断な人です。今の政治家のほとんどはフェリックスタイプです。ただ、大きな組織のトップになると誰しも優柔不断になります。一方、クリスチャンは理想的には優柔不断になることはありません。なぜなら、聖霊がどちらにすべきかを必ず示してくれるからです。しかし、私も含めて優柔普段である自分に気付きます。なぜなら、「聖霊の思いがわからない」または「聖霊の思いはわかってもこの世の多数に反する行動は取れない」からです。本当に情けないですね。祈ることは大切ですが、祈りで終わるのではなく、パウロのように祈って行動するクリスチャンになりましょう。 テキスト

2021.05.29
こんにちは、土橋です。主の御名を賛美します。歳をとると誰しも脱出の道が見えなくなってきます。なぜなら、体力的にも能力的にも今よりも状況が向上することは考えられないからです。しかし、そんなことを考えるのは神様に頼っていないからです。パウロは「たとい私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされます（IIコリント4：16）」と言っています。これは心の持ち方を言っているのではなく、実際のパウロの経験から語っているのです。何歳になっても必ず脱出の道は与えてくれます。患難を避けるのではなく、パウロのように患難に立ち向かっていきましょう。テキスト

2021.05.22
こんにちは、土橋です。主の御名を賛美します。ご存知のようにアメリカ政府は新種のコロナが入ってくるのを防ぐために、日本への渡航を禁止しました。このように国は自分達を守るためには他国との壁を作って対応します。ユダヤ人も神殿に異邦人が入ることを禁じたように、様々な壁を作ってユダヤ民族を守ろうとしてきました。これは悪いことではないと思います。しかし、神様には民族的な壁はありません。誰をも平等に愛しています。ただ、救われた者と救われていない者には壁が存在します。救われた者としての使命を果たしましょう。テキスト

2021.05.15
こんにちは土橋です。主の御名を賛美します。あなたは周りの人から注意を受けることが今でもありますか。大人になると人から指摘されないように気をつけて行動し続けた結果、他人から直接苦言を呈されることがほとんどなくなっている人が多いのではないでしょうか。しかし、それは非常に危険です。なぜなら、人間は自分の悪いことに自分で気づかないので、他人からの指摘がないということは人間として成長していないことを意味するからです。もちろん、私のように指摘され続けているのに全く改めようとしない最低の人間もいますが、それでも指摘され続けたので少しは変わったと思います。パウロも指摘されやすい人間だったように思います。しかし、それが成長をもたらしてキリスト教の基礎を築きました。皆さんも指摘されることを嫌がらず、それをバネに成長してください。今週もよろしくお願いします。テキスト

2021.05.08
こんにちは土橋です。主の御名を賛美します。今日はパウロの惜別説教ですが、私も最近誰と会っても「これが最後かもしれない」と思います。否定的な思いではなくそう思うのです。別れることはこの世的には悲しいことですが、再び天国で会う希望を考えると喜びになります。今週もよろしくお願いします。
テキスト

2021.05.01
こんにちは、土橋です。今日は偶像を造って利益を得ている人々がパウロの宣教をやめさせようとするところです。もちろん、良くないことですが、キリスト教に反する職業を持っている人は思った以上に多いと思います。極端に言えば、聖職者以外はみな多かれ少なかれキリスト教に反する部分を持っていると言えます。つまり、日々の生活から聖書に反するものを取り除いて純粋に生きることなど不可能なのです。自分を正当化する訳ではありませんが、こういう面従服背的な生き方は神に反するものではないと思います。むしろ、ノンクリスチャンとの接触を待たずに日々を過ごしている方が、神に反している場合が多いのではないかと思います。御霊でいつも祈りつつ、この世で生きていきましょう。ここをクリックしてください

2021.04.24
こんにちは、土橋です。メッセージの中にも書いていますが、「天国は神様が支配するところである」を否定する人はほとんどいないと思います。でも、多くの日本人は「私は死んだら天国に行ける」と漠然と思っているのです。なぜなら、彼らは「私は死んだら神様になるから大丈夫」と思っているからです。恐ろしい認識です。もし、ある人に伝道していて神の国について話した時、その人が「私は死んだら神様になるので大丈夫」と本気で思っていたなら、私はそれ以上はその人に伝道する必要はないと思います。悲しいことですが、そんな人を相手する時間もないし、神様も喜ばないと思います。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2021.04.10
こんにちは土橋です。人間は「努力すればするほど成果が出る」と思いがちです。努力はもちろん大切ですが、それ以上に方向とタイミングが大切です。そして、絶妙の方向とタイミングで進み出すには常に準備することが大切です。常に準備して、神様からのゴーの合図にタイミング良く進めるようにしてください。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2021.04.03
こんにちは、土橋です。イースターおめでとうございます。「イエスは復活して今も生きておられる」ことは私たちの力の源です。悩んだ時は、落ち込んだ時はこのことを思い出してください。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2021.03.27
こんにちは土橋です。主の御名を賛美します。今日はパウロがアテネでの宣教に失敗したところです。日本はアテネと同じように偶像礼拝が盛んなところです。しかし、アテネの人と日本人では違いがあります。それは、アテネの人は死者の復活を聞いて馬鹿げていると思って立ち去りましたが、日本人は死者が神になって私たちを守ってくれていると信じている人が多いからです。「死者が神となる」のは変なことだと思わないのは本当に不思議です。世界中が変だと思っているのに、日本人だけ

が「日本の伝統文化に口を出すな」と思っているのです。現在のアテネの人々の多くはキリスト教を信じています。日本人だけが何年たっても変わらないのです。ここをクリックしてください

2021.03.20
こんにちは土橋です。3月になって暖かくなると、高校野球やプロ野球などの野球のシーズンが始まります。野球の試合中に考えることは、ただ一つ、試合に勝つことです。もちろん、そのためには様々なことをしなければいけませんが、結局は試合に勝つことだけがゴールです。信仰生活で考えることも、ただ一つ、魂の救いを勝ち取ることだけです。愛が大切、祈りが大切、聖霊が大切、聖書が大切等々、様々なことを言いますが、結局目的は魂の救いを勝ち取ることだけです。聖書の真理を追求しても魂の救いにつながらないことは意味がありません。ゴールを明確にして信仰生活をしていきましょう。ここをクリックしてください

2021.03.13
こんにちは、土橋です。私は今日のパウロとシラスが牢屋で神を賛美しているところが、聖書の中の好きなシーンの一つです。何も悪いこともしていないのに鞭打たれ、足かせを付けられて牢屋に入れられているのに、「イエス・キリストのために苦しみを受けている」と考えると嬉しくて仕方がなかったのです。主のために受ける苦しみとは、決して歯を食いしばって耐えるようなものではなく、苦しいことすら喜びに変わる、というようなものだと思います。これが主の栄光を表すことであり、その光景を見た看守はパウロとシラスが知らない間に放っていた主の栄光に圧倒され、イエス・キリストを救い主として受け入れたのです。あなたは日々歯を食いしばっていませんか。そんな人生から解放されましょう。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2021.03.06
こんにちは、土橋です。みなさんはよく喧嘩をしますか。パウロとバルナバも大喧嘩をして別れました。神様とはまったく関係のないことで喧嘩をしましたが、その背後には神様がやはり関わっていました。皆さんも喧嘩をしている時、「神様はどういう理由で私達を喧嘩させているのだろう」と考えて見てください。理由はなかなかわからないかもしれませんが、怒りは確実におさまってくると思います。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2021.02.27
こんにちは、土橋です。今日はエルサレム会議の箇所ですが、この会議によって「異邦人の信徒は割礼を受けなくでもよい」ということが決められました。みなさんが所属している教会でも会議で様々なことを決定していると思います。ただ、民主主義に基づいて多数決で決めることは決して良くありません。キリスト者の会議は神様の思いに基づくものは何かを議論すべきであり、最終的に決定するのは神様です。どんな会議をするときでも、神様を主役にして行いましょう。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2021.02.20
こんにちは、土橋です。最近、色々と忙しくて神様のことを考える時間が少なくなっている自分に気付きます。それが何よりも罪である気がします。どんなことをしていても、1分に一度イエスキリストのことを考えることは可能です。いや、必要であると思います。朝夕の祈りの時にだけ神様のことを考えるのは失礼です。いつも御霊で祈りましょう。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2021.02.13

こんにちは、土橋です。今日のメッセージの中に数学の問題が出てきます。私は最近暇になると数学系のYoutubeを見ています。それを見ていていつも思うのは、「数学の問題を解くために最も重要なのは、論理的思考力ではなく直感力である」ことがわかります。問題を見て出題者の思いを直感的に察知できれば、後は基本的な公式に従っていけば、ほとんど解答までたどり着きます。神様の思いを知ることも同じで、何かが示されていると思った時に直感的に神様の思いを察知できるかどうかが大切です。何かの問題が起こったとき、具体的にはわからなくても聖霊の思いの方向を直感的に察知できれば、あとは聖書の真理に従っていけば聖霊の思いにまで到達することができます。だから、とても聖霊の思いを解き明かしは数学的です。聖霊にもっと敏感になりましょう。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2021.02.06
こんにちは、土橋です。インターネットを見ていると「牧師をやめたクリスチャン」という記事がありました（ここです）。他人事ではないと思い読んで見ると、本当に自分と同じような思いを持っていたことがわかりました。一言でいうと孤独であったということです。もちろん、家族を含め私のことを支えてくれる人々はいます。その人々のために頑張らないといけない気持ちはいつもあります。でも、孤独なのです。しかし、イエスもいつも孤独でした。イエスは「私のことを本当に理解している人は誰もいない」と思い続けていた、いや今も思い続けているのだと思います。そう思うと、孤独とは牧師の特権でさり、孤独を通してイエスに近づくのが御心であることに気付きました。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2021.01.30
こんにちは、土橋です。使徒の働きを読むと、イエスキリストを伝えるために必死になった人々の姿が次々と登場します。そういう人々と自分を比べた時、自分が彼らと違ってこの世に軸足を置いていることに気づかされます。「生きていくために仕方がない」と心の中で呟きながら、「お前の仕事は生きることよりも大切なものを伝えることではないか」と別の自分が自分を諫めます。「とにかく自分を正当化することをやめよう。神様が見えなくなる」という思いが募ります。祈りとは「信仰にとって不要な物を捨てる作業だ」とこの頃思います。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2021.01.23　テキストメッセージ
2021.01.16　テキストメッセージ
2021.01.09　テキストメッセージ

2021.01.02
こんにちは、土橋です。2021年の最初のメッセージがパウロの回心です。メッセージの中でも何度も言っていますが、キリスト教を迫害していたパウロがキリスト教を伝える者となったという事実は、とても大きなことです。パウロが180度向きが変わったことが信仰は一方的な神の恵みであることを証明しているからです。私も、今こうして聖書のことを書いている自分が不思議に思います。なぜなら、こんなことしたいと思ったことは今まで一度もないからです。このメッセージを読んでいる人もそうだと思います。こんな人生に何の役にも立たないメッセージをなんで読んでいるのだろうと思いませんか。全て神様の一方的な恵みです。それ以外には考えられません。本年もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2020.12.26

こんにちは土橋です。今年最後の配信になります。一年間読んでいただきありがとうございます。今年１年は誰しもコロナで大変でしたが、自分自身について振り返った時、「同じことばかり言い続けている」という反省です。もちろん、聖書は何を話してもイエスに到達するので、私たちの信仰はブレないのです。しかし、イエス自身はものすごく深く、高く、広いお方です。だからイエスのことを話しても少しも同じことばかりにはならないはずなのです。にもかかわらず同じことばかり言い続けているように思うのは、私のイエスに対する見方が少しも変わっていないためです。来年はもっとイエスの色々な素晴らしさを伝えていこうとしますので、よろしくお願いします。ここをクリックしてください

2020.12.19
こんにちは土橋です。今週はクリスマスということで、マタイ２章の３人の博士のところからメッセージをしました。三人の博士は黄金、乳香、没薬の三種類の贈り物を渡しました。誕生をお祝いしてプレゼントをあげるというのは当たり前のことなのですが、「人間が神様にプレゼントをあげる」と考えると少し違和感がある人がいるかもしれません。しかし、それは大きな誤りです。人間は元々神様に「与える」ために造られているのです。しかし、多くの人は神様から「受ける」ことばかり考えています。今年のクリスマスは神様に何を与えることができるのかを考えて見てください。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2020.12.12
こんにちは、土橋です。今日はステパノが殉教するところです。本文にも書いていますが、ステパノはユダヤの指導者に石を投げられて死にました。しかし、実際は石を投げられるように彼らをわざと怒らせたのです。つまり、殺されたのではなく自ら命を落としたのです。これはイエスキリストもまったく同じです。命が尽きるまで生きようとすることがほとんどの人間の使命ですが、ステパノには命を超える使命があったのです。神様は全ての人間に使命を与えています。そして、使命は何よりもまさります。使命に従うために命が奪われることもありますし、生活が苦しくなったり、他人から憎まれることもあります。しかし、それでも使命に従ってください。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2020.12.05

2020.11.28
こんにちは土橋です。最近１週間があっという間に過ぎていく感覚があります。人に会う機会やイベントが減り、生活の変化がなくなっているからだと思います。そんな時長い間連絡をとっていない人からメールがきて、少し気分が変わりました。生活に変化を持たせるように努力してください。「新しい歌を主に歌え（詩篇３３:３）」とあるように、毎日少し新しいことをするように心がけてください。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2020.11.14
こんにちは、土橋です。日本人は先進国の中で最も幸福度が低いと言われます。幸福度はお金に比例するのかと思う人も多いと思いますが、実は自由度と比例するようです。しかし、自由度というのは非常に定義が難しいことです。初代教会の人々は財産を共有して共同生活をしており、自由度が低い状況でした。しかし、ものすごく幸福であったと思います。クリスチャンにとっての幸福度とはどれだけ近くに神様の存在を感じることができるかであると思います。あなたは幸福ですか。どうかイエスと共に幸福を感じる日々を過ごしてください。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2020.10.24
こんにちは、土橋です。主の御名を賛美します。脳疲労という言葉があるそうです。体は健康なのですが、オンラインばかりしていると五感（視覚、聴覚、臭覚、味覚、触覚）のバランスが崩れて脳が疲労するそうです。五感をバランスよく使うことが大切です。信仰も聖書と聖霊をバランスよく働かせましょう。ここをクリックしてください

2020.10.17
こんにちは、お元気ですか。ペテロの美しの門での癒しのところです。本文中にも書いていますが、この箇所を読むとき「なぜ私には同じことができないのか」という疑問にいつもぶつかります。色々と考えましたが、結局は「ペテロのような信仰が私にはない」というのが答えだと思います。ペテロは殉教し、イエスと同じ死に方は申し訳ないと逆さ十字架で亡くなります。ペテロのように「福音のために殉教しても構わない」という信仰があれば、ペテロと同じことが起こると思います。寒くなってきましたが、お体をご自愛ください。 ここをクリックしてください

2020.10.03
こんにちは、土橋です。今週はトランプ大統領がコロナに感染したというニュースが全世界に広がりました。面白いことに、「感染によってトランプ大統領の敗北が決まった」という意見と、「感染から回復してコロナに打ち勝った大統領というイメージを持つことになるだろう」という意見にわかれています。聖霊が降臨してみんなが異言で話した時も肯定派と否定派に大きく分かれたのだと思います。その時に既成概念に囚われてしまうのか、そうでないかが神様と出会えるかどうかを決めます。常に神に出会える方を選べるように聖霊に敏感になってください。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2020.09.26
こんにちは、土橋です。メッセージの中でも触れていますが、今日はバイブルスタディの500回の記念です。それがペンテステ（五旬節）のメッセージとなったのです。すごいことだと私は一人で考えています。これは間違いなく神様の「もっと聖霊を働かせて伝道せよ」という強い願いの現れだと思います。ということで、最近何をするときも聖霊の思いに集中しようと心がけています。すると見事に自分という存在が雑音のように聖霊の思いを聞くことを邪魔をしていることに改めて気づきました。「〇〇したい」という思いだけでなく「早く答えが聞きたい」というような思いですら、聖霊の思いを聞くことの邪魔となるのです。「聖霊に集中しつつ何も考えない」という状態になった時だけ、ぼんやりと光が見えてきます。神様が私に与えた使命がより明確になりましたので、今後ともよろしくお願いいたします。ここをクリックしてください

2020.09.19
土橋です。お元気ですか。今日はイスカリオテのユダに代る弟子を選ぶところですが、何度か言いましたがユダの救いについてはキリスト教では長年議論されています。ユダはイエスを死に追いやりましたが、自殺する前に「私は罪を犯した」と言っているのでユダは救われていると考える人がいるのです。しかし、今日の箇所を読むとそうではないことがはっきりとわかります。ペテロは「ユダは自分のところに行くために脱落して行った」と書いているのです。自分の罪を認めるだけでは救われません。神のところに行くには、神を愛し、神の栄光のために生きるという思いがなければいけないのです。いつも「神様はどうして欲しいと考えているのだろう」という思いを忘れないようにしてください。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2020.09.12
こんにちは、土橋です。今週から使徒の働きから学んでいきます。使徒の働きはイエスが昇天するところから始まります。イエスの昇天は歴史的事実なのですが、多くの人はかぐや姫が月に帰っていく話のような、おとぎ話のように考えています。しかし、これは「イエスは神様ではない」と考えているのと同じです。なぜなら、イエスが神様だと本当に信じているなら、イエスの昇天は何の違和感もありません。このように自分では信じているつもりでも単に理解している人はよくいます。イエスを心から信じましょう。今週もよろしくお願いします。 ここをクリックしてください

2020.09.05

2020.08.29
こんにちは、土橋です。今日のはヨシュア記の最終章ですが、ここには「私と私の家は主に仕える」という有名な聖句があります。「あなたは神様に仕えていますか」という質問をしたら「はい。私は毎日聖書を読んで、その教えを守っています」と自信をもって答える人がいます。しかし、これは子供に「学校の先生の話をちゃんと聞いていますか」と質問したら「はい。私は教科書を毎日読んで覚えています」と答えるようなものであり、まったく意味をなしません。もちろん、学校の先生は子供たちにはっきりとわかる声で話してくれ、わからない時は何度も繰り返して言ってくれますが、神様はそういう訳にはいきません。でも、だからといって聖書を読んでいるだけで神様に仕えることにはなりません。神様が私たち一人一人に何をして欲しいのかという神様の思いを知らないと、神様に仕えることができません。神様の思いを知る方法は人それぞれです。信じている人には聖霊が内在するので、御心に反することをしようとすると必ず何かのサインを送っています。まず、それを見つけてください。そして、神様に仕えてください。今週もよろしくお願いします。 ここをクリックしてください

2020.08.22
こんにちは、土橋です。今日本では「半沢直樹」というドラマが流行っているそうです。半沢直樹という銀行員が不正を暴くというストーリーですが、「正義は必ず勝つ」というストーリーが共感を呼んでいるのだと思います。同様に「神の思いは必ず成就する」という真理も私たちに生きる力を与えてくれます。ヨシュアが最後に言いたかったのもこのことです。しかし、私たちはそれを疑っています。なぜなら、イエスを信じずに死んでいく人があまりにも多く、それが神の思いだとは信じることが出来ないからです。この議論は非常に難しいことで簡単には語れませんが、私は結局は「信じずに滅んでいく人も神の思いの成就である」と思います。今週もよろしくお願いします。 ここをクリックしてください

2020.08.15
こんにちは、土橋です。今日はヨルダン川東に領土を与えられたルベン、ガド、マナセ半部族の話です。彼らは他の部族より離れた場所に領土で自由に暮らしたいと考えていたのかもしれません。しかし、一方、他の部族から見捨てられたくないという思いももっていました。つまり、ジレンマに陥っていたのです。アメリカに住む日本人も同じようなジレンマに陥っています。「日本のゴミゴミしたところから離れて良かった」と思う反面、「日本食がどうしてこんなに高くてまずいの」と腹を立てているのです。こういうジレンマに陥るのは損得で物事を判断しているからです。物事は損得ではなく、神の思いで判断すべきなのです。アメリカに住むことが御心であるなら、自分にとってデメリットが多いように思えても神様にとっては最善の方法良いことであり、それは私たちが最も祝福される道なのです。物事を損得で判断しないようにしましょう。今週もよろしくお願いします。 ここをクリックしてください

2020.08.08

2020.08.01

2020.07.25
こんにちは、土橋です。私は初穂（初代）のクリスチャンですが特別な経験を通して救われたのではなく、いつの間にか教会に行き、いつの間にか洗礼を受けていたというのが事実です。しかし「いつの間にか」ということは「聖霊の導きにより」ということであり、初代クリスチャンにとって最も大切なのは聖霊の働きです。一方、クリスチャン家庭に育った二代目のクリスチャンは小さい時から教会に出席しているので、生きるためによりどころとして聖書が最も大切だと考えています。どちらかに偏らないようにしましょう。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2020.07.18
こんにちは、土橋です。本当に今は宙ぶらりんな状態です。1年後どのようになっているのかまったく想像できません。しかし、今までも安定しているように思っているだけで宙ぶらりんであったのです。会社も、家族も、友達も何もかもこの世に存在するもので永遠に同じものはありません。宙ぶらりんでなくなるためには私たちのルーツである永遠なる神様としっかりと繋がる以外に方法はありません。こんなことはクリスチャンにとっては当たり前のことなのかもしれませんが、コロナによりこの世が宙ぶらりんになってはじめて心から実感できるのです。永遠なる方と繋がり続けましょう。ここをクリックしてください

2020.07.11

2020.07.04

2020.06.27
こんにちは、土橋です。神様の思いがはっきりとわかることは本当に少ないと感じる人は多いと思います。今日のメッセージに祈りのコツが書かれていますが、これはバッティングセンターでバットにボールを当てるコツと似ています。なかなかバットにボールが当たらない人に対して「ボールをよく見なさい、ボールがきてからバットを振っていては遅い、頭で打つのではなくスィングを体に覚えさせておきなさい」と指導します。そっくりそのまま祈りに置き換えると今日のメッセージの三つのポイント「神様をよく見なさい、事が起こってから祈っては遅い、頭ではなく霊で祈りなさい」になります。どうか確実に神様からのボールを打ち返すことができるようにしてください。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2020.06.20
こんにちは、土橋です。今日はギブオン人が永遠にイスラエルの奴隷になるところですが、「イスラエルの奴隷になる」と「主に仕える」の違いは自発性であると考えられます。しかし、信仰とは「一方的な神の恵み」と考えると自発性とは自分の意志で行動するとは少し違うものです。信仰で大切なのは主の声に「応答」することです。応答する姿勢を忘れないでください。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2020.06.13
こんにちは、土橋です。K―LOVEというアメリカ全土に流れているクリスチャンラジオではいつも「Positive Encouraging K―LOVE」という言葉が流れています。私はこの文言を聞くたびに「本当にこ

れでいいのか」と考えてしまいます。SpiritualというのはPositiveでもNegativeでもどちらでもないと思うのです。信仰がポジティブに考えることと同じなら、私は神様には何の魅力も感じません。霊的な平安を求め続けましょう。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2020.06.06
こんにちは、土橋です。私は10年間毎日使っていたパソコンが壊れたので新しいパソコンに変えました。もちろん、速度は格段に速いのですが前のパソコンと違うキーを押さないといけないので、イライラすることもよくあります。そんな時「昔のパソコンの方が良かった」と考えてしまうことがよくあります。クリスチャンとして生まれ変わるときにも同じことが生じ、「信じる前の方がよかったのに」と思うことがあります。古いパソコンはそのうちに使えなくなるのでイライラしても新しいパソコンに慣れるしかありませんが、古い自分はいつまでも使えるのでせっかく新しい自分に生まれ変わっても古い自分に戻ったままの人も大勢います。クリスチャンとしての生活が窮屈なのではなく、慣れていないだけであることに気付き、新しい自分に早く慣れるようにしてください。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2020.05.30
こんにちは、土橋です。今日はエリコが陥落するにあたってイスラエルの民が一日に一度エリコの城壁のまわりを一周するという話です。不謹慎な話かもしれませんが、私はダイエットを思い出しました。最初の何日間はなんの変化もなく「こんなことをしていて本当に痩せるのか」と思います。そのうちに「ここまでやったのだから効果がなくても続けよう」と思いはじめ、突然体重が減り出します。イスラエルの民も「こんなことしていて何のためになるのか」という思いから「とにかく神様を信じよう」まで行進しているうちに心が変化していったのだと思います。このように、同じことを続けるというのは自分から心が徐々に神様に移っていく働きがあります。デボーションの本を毎日読んでいても、最初は「何か人生にためになることが書かれていないか」と自分を中心に御言葉を見てしまいますが、毎日続けていると自分の思いは薄れ神の思いをそのまま受け入れることができるようになります。何か一つでもいいから毎日続けてください。自分が徐々に取り除かれ神様が見えてくると思います。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2020.05.23

2020/05.16

2020.05.09
こんにちは、土橋です。ペンシルバニア州でも少しずつ自宅待機が終了しはじめています。また、町を歩いてもマスクをしていない人をみかけるようになりました。しかし、問題の根本は何も解決されていません。ノーベル賞を受賞した山中教授が言っているように、①ワクチンが開発される　または　②70%以上の人が感染して抗体をもつ　以外にコロナウイルスの疫病が終了することはありません。しかし、多かった感染者の数が減少しはじめると「もう大丈夫だ」と勝手に思っているのです。信仰も同じです。周りの人にクリスチャンが少ないと真剣に考えず、「私にはイエスキリストなんかいなくても大丈夫だ」と勝手に思っているのです。私たちの罪に対するワクチンはイエスキリストの十字架以外にはありません。周りに左右されずにイエスキリストだけを見上げていきましょう。ここをクリックしてください

2020.05.02

こんにちは、土橋です。オンラインで礼拝したり会議をしたりの生活に慣れると、「時間も節約できるし、ガソリン代も節約できるし、録画して何度も見れる」と思い今までの対面での生活が面倒くさくなります。でも、人間は一人で生きていけないように作られいることを忘れてはいけません。便利になって得たのと同じ分だけ必ず失っているものもあるのです。「裸で生まれ裸で死ぬ」というヨブ記の言葉は偉大ですが、だからといってこの世のことに無関心になるのも御心ではありません。やっぱりすべてバランスが大切です。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2020.04.25
こんにちは、土橋です。今、コロナの影響でほとんどコミュニケーションをとっていない自分に気づきます。でも、コミュニケーションをあまりとらない人間は老化が早いといわれるように、コミュニケーションは私たちには不可欠なものです。コミュニケーションの目的は情報伝達であると思いがちですが、それだけでなく感情を伝えるためにコミュニケーションが存在します。私はできませんが、メールの達人と言われる人は情報だけでなく感情もうまく伝えることができます。うれしいことや悲しいこと、腹のたつことといった感情をコミュニケーションして脳を活性化してください。私でもよければいつでも言ってください。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2020.04.18
こんにちは、土橋です。毎日家にいる生活が続いていると思います。他人とほとんど接触しないと「あの人と会って話したい」と思うものです。しかし、実際に毎日人に会えるようになると「自分のことをわかってくれる人など誰もいない。一人になりたい」と思います。人間は勝手な生き物ですね。でも、神様は私たちの勝手なところをすべて受け入れてくれるだけでなく、人間な勝手な性質を利用して罪から救いに導いてくれたのです。本当にすばらしいですね。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2020.04.11
こんにちは、土橋です。主の復活をお祝い申し上げます。不謹慎な言い方ですが「イエスの復活よりも仕事、イエスの復活よりも健康、イエスの復活よりもお金」と今思っている人が多いのではないでしょうか。しかし、イエスは死体から起き上がって蘇ったのではありません。墓が空っぽになり、何もなくなったことが復活のはじまりだったのです。空っぽであることを喜びましょう。ここをクリックしてください

2020.04.04

2020.03.28
こんにちは土橋です。コロナウィルスにより自宅待機が続いていますが、どのようにお過ごしですか。日本では自粛要請なので店は完全には締まっていませんが、アメリカでは法的な拘束力があるので食料品店と薬局以外はすべて締まっています。このウィルスで良く言われるなのは「病院にいくと感染する場合が多い」ということです。「病気を治しにいって病気になる」とはものすごいパラドックスだと思いませんか。しかし、こんなことは教会でもよくあり、「気分が沈んでいるので礼拝に出たら余計に落ち込んだ」という話を聞くことがたまにあります。これに対して牧師としては「神様を求めていない人には聖書の言葉は逆効果である」と言いたくなりますが、それは言い訳でありイエス様が牧師ならどんな人でも満足して帰っていくでしょう。結局は愛が足らないのだと思います。メッセージの中にも書いていますが、「罪の反対の意味での愛」があればイエスと同じようにすべての疲れた人を癒すこ

とができると思います。どうか体も心も霊も健全であるように努めてください。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2020.03.21
こんにちは、土橋です。先週からオンライン礼拝をはじめたのですが、インターネットで配信しようとすると様々な新しい知識が必要であり私には無理なことが多いのです。私が会社をやめて牧師になった理由の一つは「会社に勤めていれば色々な変化に順応していかないといけないが、聖書は絶対に変化しない」ということです。しかし、牧師も世に順応しないといけないのが最近身にしみてわかるようになりました。ただ、それは世に迎合することではありません。「世に打ち勝つ」信仰をもって世に順応しましょう。ここをクリックしてください

2020.03.14
こんにちは、土橋です。今、礼拝もできませんし、仕事にも行けません。本当に暗い日々を過ごしていることと思います。そんなときでも神は愛してくれているのです。神の愛はこの世にはありません。神の愛を見て日々を過ごしましょう。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2020.03.07
こんにちは、土橋です。新コロナウイルスは今後どうなるのか、本当に暗闇の中にいますね。ピッツバーグではまだ発症者がでていないのに、みんな暗い顔をしており、学校も休校になったりオンライン授業に変わったりしています。一方、息子が研修しているアリゾナではみんな普段と同じ生活をしているそうです。最善を尽くしたら後は気にせず主におゆだねするのが大切ですね。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2020.02.29

2020.02.22
こんにちは、土橋です。家には猫が二匹いますが、食事の世話、毛の掃除、トイレの世話と結構めんどうくさいものです。しかし、たまにそばにきて甘えにきてくれるとき「いっしょにいてよかった」とうれしくなります。神様がそばにいてくれるという喜びを味わうのも同じような気がします。毎日祈り、聖書を読み、罪を告白したりと面倒なことをし続けて、たまに神様の臨在を感じたときに喜びがわいてくるのです。神様に会うために面倒なことを日々続けていきましょう。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2020.02.15
こんにちは、土橋です。今日は「救いの確信」というテーマですが、感覚的には「自分が救われているかどうか自信がない」という人はほとんど救われていると思います。なぜなら、「救いに自信がない」ということは「自分が罪人である」ことを認めているからです。しかし、安心してはいけません。救いに確信がないのは聖霊がほとんど働いていない証拠です。せっかく我々の内に内在しれいる聖霊を働かせていないので不安になるのです。もっと聖霊を働かせましょう。ここをクリックしてください

2020.02.08
こんにちは、土橋です。今日のタイトルは「躓きの石」ですが、内容としては「信仰生活に躓かないようにイエスキリストにとどまっていなさい」ということです。しかし、一方、イエスキリスト自身は「躓きの石」でもあり「イエスに躓くことによって向きが自分から神様に変わる」ということとも言えます。つま

り、イエスキリストは躓かないように支えてくれると同時に、躓かせた大切なことは何かを見せてくれる存在なのです。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2020.02.01
こんにちは土橋です。私は非常にコミュニケーションが下手であり牧師にはふさわしくないと自分でも思いますが、一つだけとても牧師に向いていると思う点があります。それは両極端な部分をもっているということです。電力会社に勤めているとき、午前中の会議で「後の世代に負担を残す原子力なんか作るべきでない」と熱弁していたのに、午後の別の会議で「エネルギー資源のない日本で原子力以外の選択肢は考えられない」とまったく逆の主張をしていたのを聞いた友人が頭が狂いそうになったと言っていたのを覚えています。メッセージの中にも書かれていますが信仰生活とは両極端の自分と向き合うことであると思います。神のイメージに造られたというポジティブイメージと、罪人のかしらというネガティブイメージの両方の自分と向き合うとき、その中に神が見えるのです。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2020.01.25

2020.01.18
こんにちは土橋です。今週でヨハネの福音書は終わります。ヨハネが言いたかったことは「私たちは立派な人間になろうとしても神様の基準には到底達することができない。私たちができるのは神であるのに人間と同じところまで降りてきてくれたイエスを信じつながることしかない」ということだと思います。どうか、祈りを通して、聖書を通して、そして聖霊の働きを通してイエスとつながってください。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2020.01.11

2020.01.04
こんにちは、土橋です。今日はイエスの復活の話です。イエスの復活はもちろんですが「失くしていたものが急に見つかる」ことは我々にものすごい確信を与えるものです。私も「失くした郵便ポストの鍵が4年後にポストの前で見つかった」という経験をしたことがあります。4年間毎日、郵便ポストには行っていたのにまったく気づかなかったのに、4年後に引越しする日に最後に郵便ポストをチェックしたときに見つかったのです。鍵が見つかって何か良いことが起こった訳ではありませんが、今でも「神様が私たち家族に何かを示すためにしてくれたこと」だと信じています。そう思うと「神様はいつも私たち家族のことを見ていてくれている」という確信がわいてきます。個人的に神様を経験してください。必ず平安に満たされます。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2019.12.28
こんにちは土橋です。明けましておめでとうございます。今年の正月は本当に久しぶりにおせちを食べました。お重に様々な料理が並べられており、きれいで食べるのがもったいないと思いました。しかし、作った人はきれいに盛り付けられた料理を手をつけずにそのままでいるよりも、お重が空っぽになるほど食べてほしいと願っています。神様も同じです。私たちは苦労して得た知識や地位やお金をいつまでも持ち続けたいと願っていますが、私たちを造った神様はそんなものを捨てて空っぽにすることを願っています。そして、それが神様との出会いのはじまりとなるのです。今年もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2019.12.21
こんにちは土橋です。主の降誕をお祝い申し上げます。スヌーピーの作者のシュルツはクリスチャンであり、彼の代表作「ピーナッツ」には聖書に関することがたくさん引用されています。今年のクリスマスはスヌーピーを漫画や映画を見て、その中に隠されている聖書の話しを見つけてみてはどうでしょうか。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2019.12.14
こんにちは、土橋です。今、ピッツバーグは雪が降っています。一方、妻と娘は今アリゾナにいる息子に会いにいっているのですが、太陽が照りつけて暑くてしょうがないそうです。一瞬、神様は不公平に思います。でも、そうではなく私たちが目に見えるものにこだわっているだけなのです。ピッツバーグの雪もアリゾナの暑さも神様の恵みです。目に見えないものに心を向けましょう。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2019.12.07
こんにちは、土橋です。私のまわりにも心の病の人が数えられないほどいます。人はちょっとした一言で落ち込んだり、心が癒されたりします。そう思って自分の一日の行動を振り返ったとき、言わなくてもよい言葉を何回も言っていることに気づきました。そういう失言をなくすためには、何か言葉を発する度にその言葉が主の栄光をあらわしているかをチェックすることが不可欠です。一日に何十回も心の中で「イエス様、これでいいのですか」と尋ねることは面倒くさいことだと思います。でも、とても素晴らしいことだと思いませんか。ここをクリックしてください

2019.11.30

2019.11.23
こんにちは土橋です。今週はThanksgivinngの休みです。里帰りしてリユニオンしている家庭も多いと思います。聖書には「すべてのことに感謝しなさい」とあります。物事がうまくいったとこは私たちは感謝しやすいのですが、結果があまりよくなかったときは感謝を忘れてしまいます。むしろよくない結果の方が感謝すべきことが多いものです。感謝することを忘れないようにしましょう。よろしくお願いします。ここをクリックしてください

2019.11.16
こんにちは、土橋です。最近はパソコンばかりで文章を作っているので漢字を書けなくなっている人が多いと思います。昔の印刷技術が発達していない頃は聖書なんかほとんどの人はもっていなかったので、一度聞いた聖書の言葉はほとんど覚えていたそうです。便利になってたくさんの物を得ることができるようになりましたが、それと同じだけのものが失っているように思います。よろしくお願いします。ここをクリックしてください

2019.11.09
こんにちは土橋です。ピッツバーグは雪が降り始めました。暖かい地域にお住いの方は「もう雪、ああ嫌だ」と思うかもしれませんが、私はピッツバーグ7年目なので少し慣れて何も思わなくなりました。慣れはある面良いことでありますが、反面恐ろしいことでもあります。いつも初心に戻らないと慣れが緩みを引き起こし、雪道の運転中の事故などを引き起こします。信仰にも慣れないようにしてください。日々新しい神様と出会うようにしてください。 ここをクリックしてください

2019.11.02
こんにちは、土橋です。１１月に入り、あと2カ月で１年が終わります。一年は本当に早く過ぎますね。１年を時間になおすと８７６０時間もあるのですが、そのうち神様のことを考えているのは何時間ぐらいですか。５００時間もあればすごい信仰の人だと思います。それぐらい人間は神様から離れているのです。何をするときにも「御心にかなっているのだろうか」と考える習慣をつけましょう。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2019.10.26
こんにちは土橋です。私は先週風邪をひいてとてもしんどかったのですが、今週はかなり元気になってきました。みなさんも風邪をひかないように気をつけてください。ここをクリックしてください

2019.10.19
こんにちは、土橋です。主の御名を賛美します。今少し風邪をひいていますが、それだけで通常できていることができなくなってしまいます。罪に気づかずに歩くとはひどい風邪をひき続けているようなものなのかもしれません。人間に生まれつきに与えられているものが鈍感になって神様から遠く離れてしまうのです。イエスキリストという薬をのんで元気にいつづけましょう。ここをクリックしてください

2019.10.12
こんにちは土橋です。今、ピッツバーグは季節の変わり目で朝来るまで仕事場に向かうときは車の中は暖房をかけ、夕方仕事場から家に帰るときは冷房をかけています。心の状態も同じで一日でアップダウンすることがよくあります。昨日も今日も永遠に変わらないイエスにつながりいつも平安にいきましょう。ここをクリックしてください

2019.10.05
こんにちは土橋です。最近、博愛主義的なキリスト者が私の周りに増えているのが気になります。「神様は私達を愛しているのだから最後には赦してくれる」とか「神様は私達を愛しているのだから私たちが好きなようにすることを望んでいる」と信じているのです。そして、私たちのような保守的なキリスト者を差別主義者的な存在として扱います。信仰とは排他的であり、すべてを受け入れるのは信仰ではなく単なる道徳です。どんな人をも赦すのがアガペの愛ではなく、アガペの愛は犠牲の上にはじめて得られるものです。イエスだけが主の道なのです。今週も恵みに来たいしていきましょう。　ここをクリックしてください

2019.09.28
こんにちは、土橋です。今日の箇所は三位一体の神の存在をわかりやすく説明してくれています。どうか絵をしっかりと頭に入れておいてください。皆様一人一人がイエスとつながり大きな実をむすぶことをお祈り申し上げます。ここをクリックしてください

2019.09.21
こんにちは、土橋です。今日のメッセージにもありますように愛することは信仰のすべてであると言っても過言ではありません。しかし、自分の中に愛することのできないものが存在するのに気づくときがあります。憎しみは取り除こうとすればするほど大きくなります。神の愛で包むしかないのだと思います。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2019.09.14

2019.09,07

2019.08.31

2019,08.24
こんにちは、土橋です。ピッツバーグの秋は早く朝晩は涼しくなってきました。そうするとネガティブな人は冬の寒さを思い出して「あと3か月すると冬になる」と嘆くそうです。しかし、冬の前に食欲の秋があり、冬の後にも桜咲く春があるのです。「あすのことを思いわずらうな」と聖書に書かれているように、起こる前に嘆くことは本当に人生を無駄に過ごすことだと思います。夏の終わりを楽しんで秋を迎えましょう。 ここをクリックしてください

2019,08.17

2019,08.10

2019.08,03

2019,07,27

2019,07.20

2019.07.13

2019.07.06
こんにちは土橋です。暑くなってきましたね。夏バテしないようにちゃんと食事を取るようにしましょう。
ここをクリックしてください

2019.06.29

2019.06.22

2019.06.15
こんにちは、土橋です。主の御名を賛美します。ヨハネの福音書は非常に難しく、私自身も咀嚼しきれていない部分がたくさんあります。しかし、それがヨハネの奥深さであるのでとても面白いです。ありがとうございます。 ここをクリックしてください

2019.06.08
こんにちは、土橋です。今週もよろしくお願いします。 ここをクリックしてください

2019,06.01

こんにちは、土橋です。今年はピッツバーグは雨が多いようです。雨が降るとなんとなく気分が沈みますが、雨のおかげで野菜や果物が食べられるのだと思うとありがたいと思います。本当に人間は目先のことしか見ませんね。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2019,05.25
こんにちは、土橋です。今、ピッツバーグではたまに雹（ひょう）が降ります。グーグルで調べてみると、「地表の気温と上空の気温の温度差が大きい５月や１０月頃には大きな上昇気流が生じ、雲の中の小さな氷粒は落下・上昇を繰り返し、その内に氷粒は大きな塊となり、それが地表にまで解けずに落ちてきて雹になる」そうです。理屈はわかっても本当に不思議な気がします。神様のなさることは本当にすごいですね。今週もよろしくお願いします。ここをクリックしてください

2019,05.18　ここをクリックしてください

2019,05.11　ここをクリックしてください

2019,05.04　ここをクリックしてください

2019.04.27

2019.04.20

2019.04.13

2019.04.06

2019.03.30

2019.03.23

2019.03.16

2019.03.09

2019.03.02

2019.02.23

2019.02.16

2019.02.09

2019.02.02

2019.01.26

2019.01.19

2019.01.12

2019.01.05

2018年　ここをクリックして、さらにファイルをクリックしてください

2017年　ここをクリックして、さらにファイルをクリックしてください

2016年　ここをクリックして、さらにファイルをクリックしてください

2015年　ここをクリックして、さらにファイルをクリックしてください

2014年　ここをクリックして、さらにファイルをクリックしてください

2013年　ここをクリックして、さらにファイルをクリックしてください

2012年　ここをクリックして、さらにファイルをクリックしてください

2011年　ここをクリックして、さらにファイルをクリックしてください